

市町村別の調査結果

各グラフについての説明

1 総合評価(段階別)グラフ

※ 総合評価は、実技項目(8項目)の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA, B, C, D, Eの段階に区分したものです。

○ 小学校 A:65以上 B:58~64 C:50~57 D:42~49 E:41以下

○ 中学校 A:57以上 B:47~56 C:37~46 D:27~36 E:26以下

※ グラフの横軸は、曜日を示しています。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示しています。

2 運動実施時間(段階別)グラフ

※ 運動実施時間は、学校の体育の授業(保健体育)の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む※注)やスポーツをした時間です。

※ 注 (体を動かす遊びを含む)の文言は、平成26年度の質問から追加されたものです。

※ グラフの横軸は、曜日を示しています。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動時間(分)を示しています。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

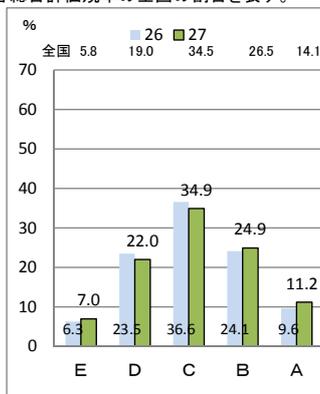
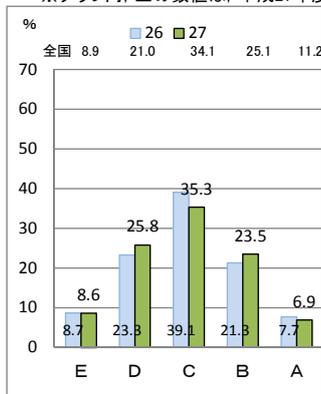
鹿児島市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

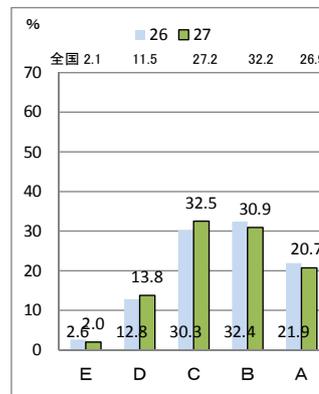
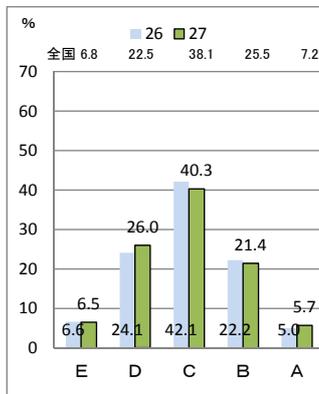
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女の傾向として、A+Bの割合が全国平均より低く、C+Dの割合が全国平均より高くなっており、C~Eの下位層の底上げが必要である。
- ・前年度と比較すると、女子は改善傾向であり、A+Bの割合がやや増加している。
- ・男子はD+Eの割合が34.4パーセントと高いことから、「D,E」の子供の体力及び運動への興味関心を高めるための取組が必要である。

〈現状及び課題〉

- ・男女共に、A+Bの割合が全国平均より低く、C+Dの割合が全国平均より高い。男女共に割合の高い「C」及び「D」の子供の引き上げが必要である。
- ・前年度と比較すると、男女共にDの割合がやや増加しており課題である。
- ・男子はD+Eの割合が32.5パーセントと高いことから、「D,E」の子供の体力及び運動への興味関心を高めるための取組が必要である。

【小学校 運動実施時間】

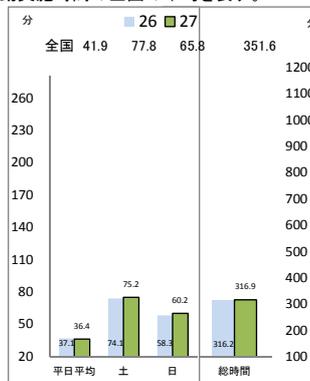
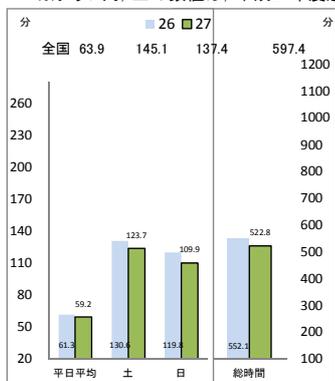
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



【中学校 運動実施時間】

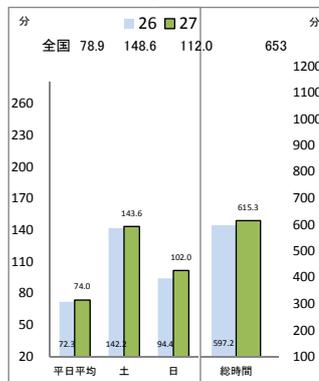
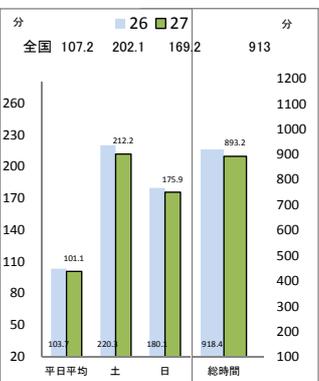
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男女共に全国平均と比較して短い。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間は、男女共に全国平均と比較して短く、特に男子において全国との運動実施時間の差が大きい。
- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男子は短く、女子はやや短い。
- ・前年度との比較は、男子の運動実施時間が減少しており課題である。

〈現状及び課題〉

- ・平日の運動実施時間は、全国平均と比較して、男子はやや短く、女子は短い。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間は、全国平均と比較して、男子はやや長く、女子は土曜日がやや短く、日曜日が短い。
- ・1週間の総運動時間は、男子はやや短く、女子は短い。
- ・前年度と比較すると、女子の運動実施時間は改善傾向である。

【改善策】

- ・体育の授業では、明確な「めあて」の設定と「振り返り」の活動を取り入れ、運動の特性や技能の系統を踏まえ、「わかる」「できる」「継続する」学習過程の工夫を図る等、魅力ある授業づくりに継続して努め、より運動好きな子供の育成を図る。
- ・児童生徒一人一人の実態の把握に努めるとともに、課題を明確にする「個人カルテ」の作成及び積極的な活用を推進し、児童生徒が主体的・継続的に運動実践できるよう、働きかけと見届けを行っていく。
- ・家庭に対しては、土曜日・日曜日に戸外等での遊びや親子等での運動への取組を啓発していく。
- ・全校で「ちよトレ(ちよとしたトレーニング)運動」に取り組み、体力向上を図る。
- ・「チャレンジがしま」への積極的な参加を促す。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

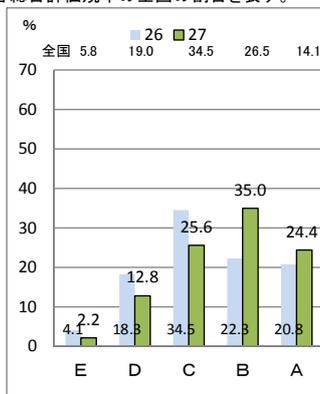
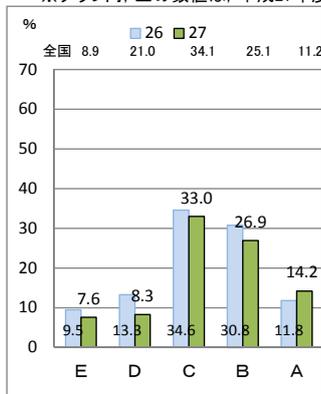
日置市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

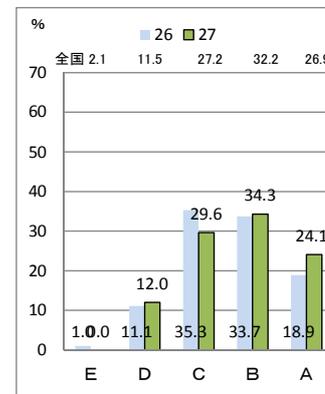
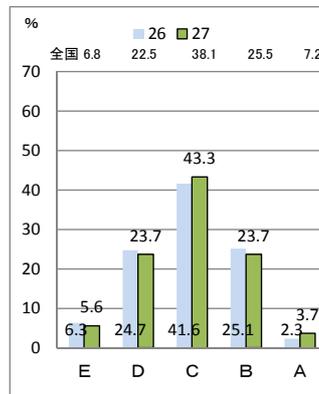
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女とも概ね全国平均を上回っている。
- ・女子は、AとBで60%近くになり、全体的に運動能力は高い。
- ・男女とも、下位層の引き上げの必要である。
- ・男子は、昨年度と同じ傾向であるが、女子は、昨年度よりかなり上回っている。

〈現状及び課題〉

- ・男子は、AとBともに全国平均を下回っており、DとEの合計は、全国と同じである。
- ・女子は、BとCで全国を上回っているものの、Aは下回っている。
- ・男女とも、中間層及び下位層の引き上げが必要である。
- ・男女とも、昨年度と同じような傾向となっている。

【小学校 運動実施時間】

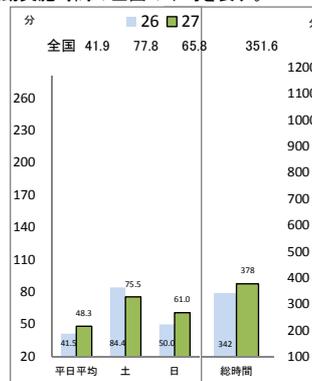
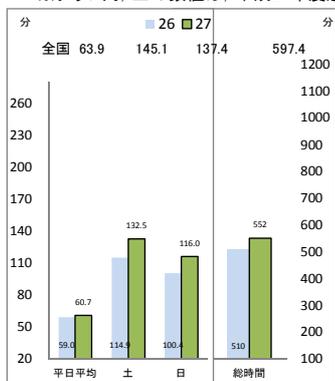
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



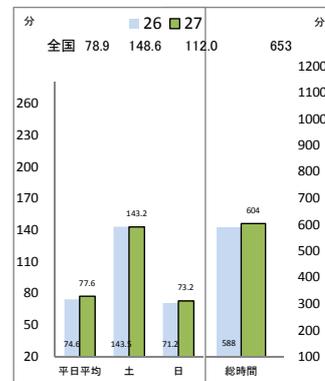
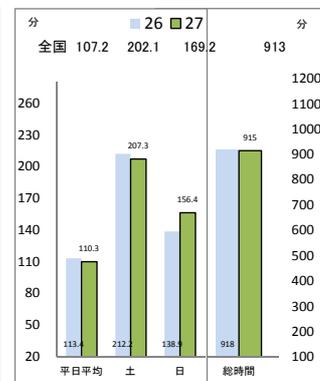
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・男子は、平日・土・日いずれも全国平均を下回っている。
- ・女子は、平日は、全国平均を上回っているものの、土・日は、下回っている。
- ・総時間は、全国平均と比べると、男子は下回り、女子は上回っている。

〈現状及び課題〉

- ・男子は、平日と土曜は全国平均を上回っているものの、日曜は下回っている。
- ・女子は、平日・土・日いずれも全国平均を下回っている。
- ・総時間は、男子は全国とほぼ同じであるが、女子は、かなり下回っている。

【改善策】

【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」を教育課程に位置付け、児童の運動実施時間の確保

【中学校】

- ・かごしまの子ども「体力向上プログラム(中・高等学校版)」の効果的な活用

【共通、その他】

- ・日置市体育指導法・実技講習会の開催、日置市「チェスト行けひおきっ子」事業(体育科)研究公開の開催(平成28年度伊作小学校)
- ・体力ナビによる児童生徒の自己の体力面の課題の自覚化を図る取組の推進
- ・運動に親しみ、運動の楽しさに触れさせることにより、「休み時間にやりたい」「おうちでやりたい」と意欲をもたせる指導の工夫授業力の向上

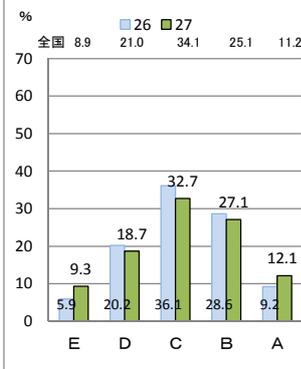
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

いちき串木野市教育委員会

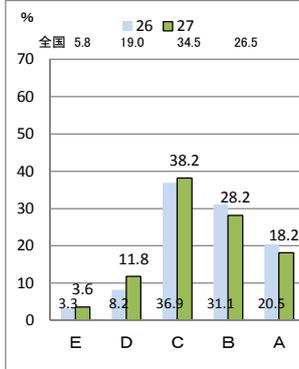
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

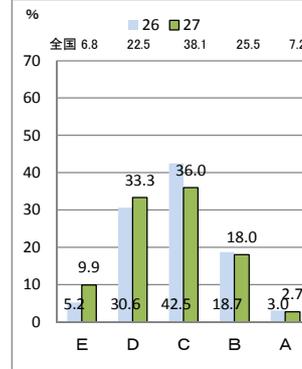


〔女子〕

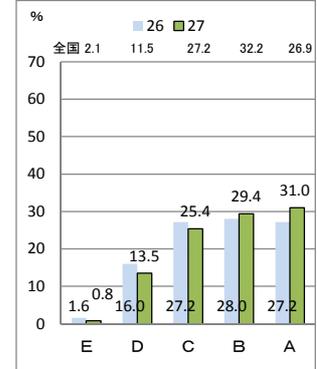


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

・女子においては、A+Bの割合が全国平均より5.8ポイント高く、D+Eの割合は全国平均より9.4ポイント低くなっており全体的に高い評価であるが、昨年度と比較すると、A、Bともに割合が低下している。
・男子においては、A+Bの割合は全国平均より3.2ポイント高く、D+Eの割合は全国平均より1.9ポイント低くなっておりやや高い評価である。しかし、D+Eの割合が28%あるので、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

〈現状及び課題〉

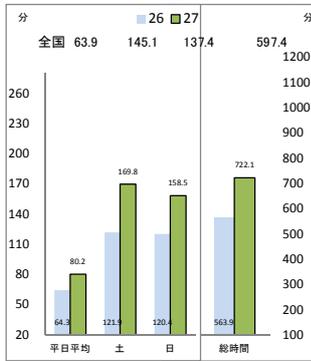
・女子においては、A+Bの割合が全国平均より1.3ポイント高く、また、昨年度と比較しても、A、Bともに割合が高くなっており、全体的に高い評価である。
・男子においては、A+Bの割合は全国平均より12ポイント低く、D+Eの割合は13.9ポイントあり、全国平均に比べ体力が低下している。特にD+Eの割合が43.2%あり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

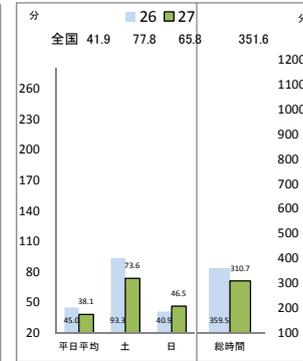
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

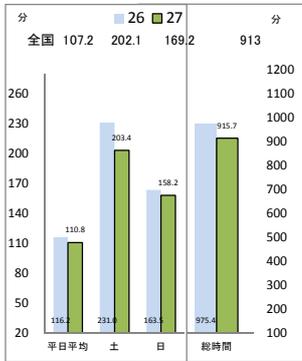
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

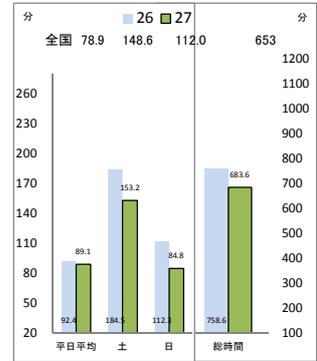
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

・全国と比較した一週間の総運動実施時間は、男子は長く、女子は短くなっている。土曜日、日曜日については、男子は運動実施時間がやや長くなっているが女子はほとんど差がない。
・昨年度と比較すると、男子は、総運動実施時間、平日、土・日ともに増しているが、女子は、日曜日は増しているものの、それ以外は減っている。

〈現状及び課題〉

・全国と比較した一週間の総運動時間は、男子については、ほとんど差がないが、女子については、わずかに長くなっている。日曜日は、全国と比較すると、女子において運動時間が全国よりわずかに短くなっている。男子についてはほとんど差がない。
・昨年度と比較すると、1週間の総運動実施時間は、男女ともに減っており、土曜日、日曜日と同様に男女とも減っている。

【改善策】

【小学校】・体育授業時における活動時間の十分な確保。全ての学校における「チャレンジかごしま」の積極的な活用と確実な申告。

【中学校】・保健体育の授業導入時や部活動時の「かごしまの子ども体力向上プログラム」の積極的な活用。

【共通・その他】

- ・家庭でできる運動やスポーツを促す具体的啓発資料の作成及び広報等の充実(土日における運動の啓発)。
- ・体育・保健体育の授業導入時における体力づくりの工夫・改善。
- ・体育・保健体育の授業時や運動部活動時の地域人材の効果的な活用。

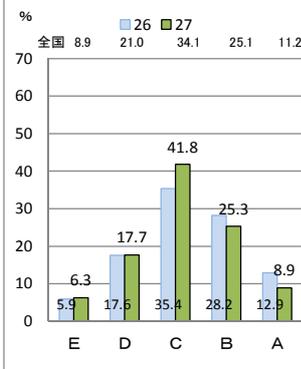
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

枕崎市 教育委員会

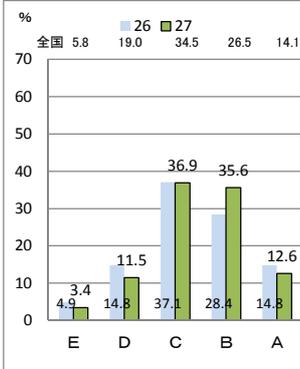
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

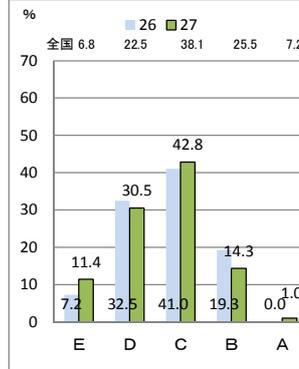


〔女子〕

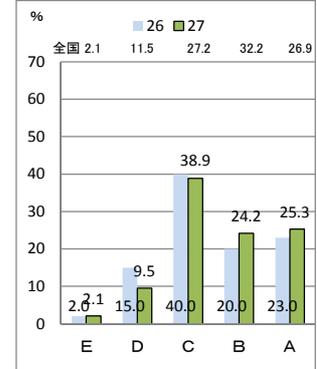


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・前年度と比較すると、男子はA,Bの割合が減少し、D,Eの割合が増加しており、運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・女子はB+Cの割合が全体の70%を超えており、全体的な底上げが必要である。

〈現状及び課題〉

- ・前年度と比較すると、男子はBの割合が5.0ポイント減少し、Eの割合が4.2ポイント増加しており課題である。また、全国と比較しても、Dの割合が8.0ポイント、Eの割合が4.6ポイント上回っており、改善に向けた取組が必要である。
- ・女子はA,Bともに前年度から増加したが、全国平均を下回っており課題である。

【小学校 運動実施時間】

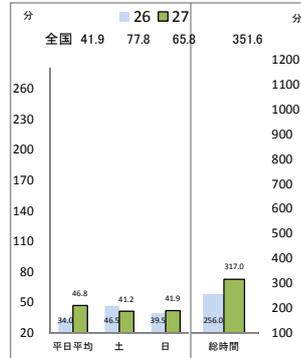
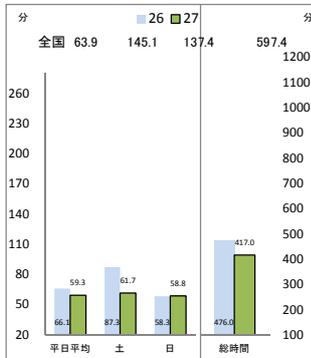
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



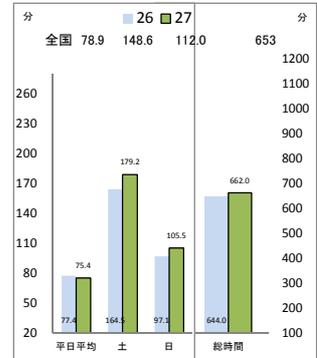
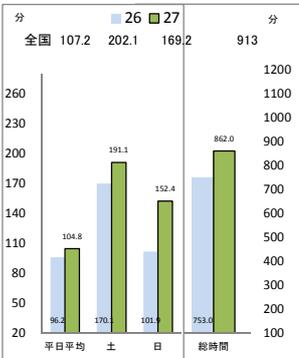
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日平均は男女ともあまり差はないが、土・日は短く、特に男子は1時間以上短い。
- ・前年度と比較すると、男子は1週間の運動実施時間が減少しており課題である。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・前年度と比較すると、男子は平日平均、土・日、1週間の運動実施時間ともに増加しているが、女子は平日平均が減少しており課題である。
- ・全国と比較した1週間の運動実施時間は、男子がわずかに短い。

【改善策】

【小学校】

- ・単独の学校における取組だけでなく、学校間(幼稚園や中学校)と連携した継続的な取組を実施する。
- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」を組織的・計画的に実施するよう改善を図る。

【中学校】

- ・生徒の体力や運動習慣、生活週間、食習慣を分析し、改善に向けた取組を進める。
- ・外部指導者(地域のスポーツ指導者)の活用を推進する。

【その他】

- ・放課後や週末、長期休業中において、家庭や地域を巻き込んで、体力向上に取り組める仕組みづくりを推進する。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

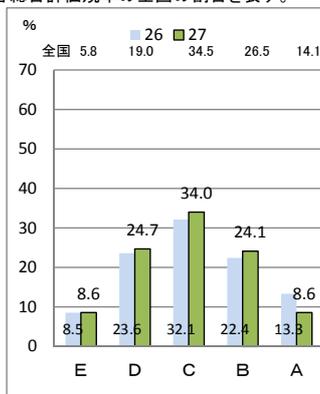
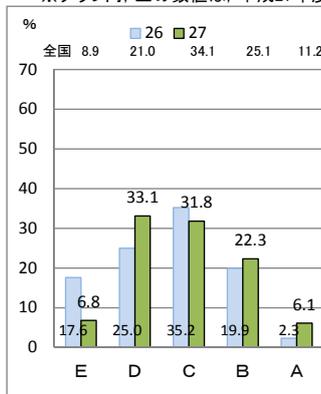
指宿市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

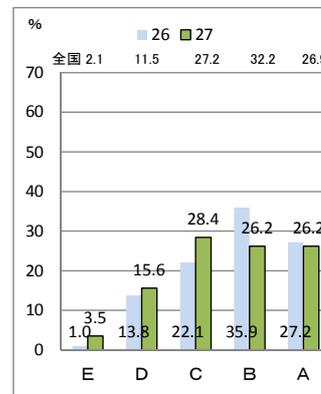
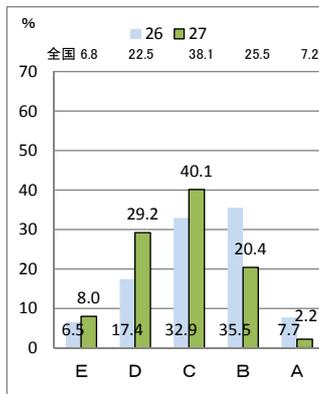
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女とも低く、D+Eの割合が高い。
- ・男子は、前年度と比較するとA+Bの割合が増加するとともに、Eの割合は減少しているが、Dの割合が8.1ポイント増加しており課題である。
- ・女子は、前年度と比較するとB+Cの割合が増加するとともに、Eの割合は減少しているが、Aの割合が4.7ポイント減少しており課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女とも低く、D+Eの割合が高い。
- ・男女とも、前年度と比較するとA+Bの割合が減少するとともに、D+Eの割合が増加しており課題である。

【小学校 運動実施時間】

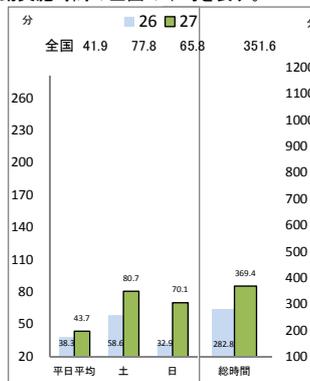
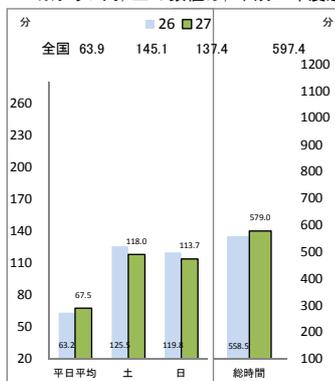
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



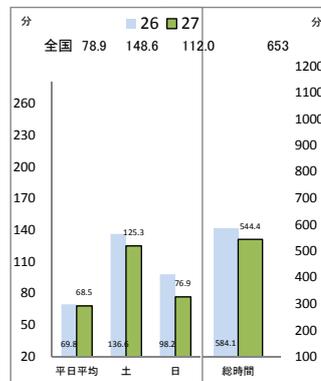
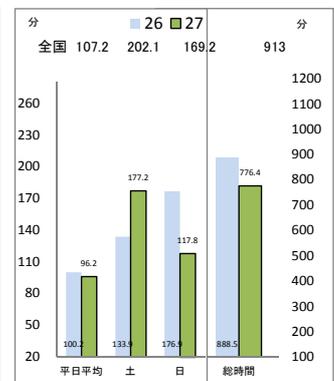
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、平日は男女ともほとんど差がなく、土・日は男子がわずかに短い、女子はほとんど差がない。また、1週間の運動時間は、男女ともほとんど差がない。
- ・前年度と比較すると、女子は増加しているが、男子は土・日の運動時間が減少しており課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、平日は男女ともほとんど差がないが、土・日は男女とも短い。また、1週間の運動時間は、男女とも短い。
- ・前年度と比較すると、男子の土曜日は増加しているが、男女ともに運動時間が減少しており課題である。

【改善策】

- 楽しい体育の授業づくり
- ・よりよい体育の授業の実践5原則(「精一杯」「仲間」「上達」「関わり」「気づき」)を意識した一単位時間の流れの確立
- ・体づくり運動タイムの設定
- ・ペアやグループで高めあう授業づくりの推進
- 1週間に7時間以上の運動時間の確保
- ・「一校一運動」及び「一家庭一運動」の推進
- ・昼休みの運動と徒歩通学の推奨
- ・「チャレンジかごしま」及び「いぶすきチャレンジデー」への積極的取組の推進
- 体育実技講習会等への積極的参加の促進

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

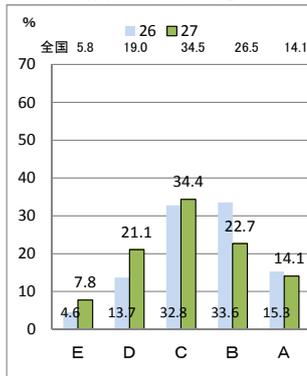
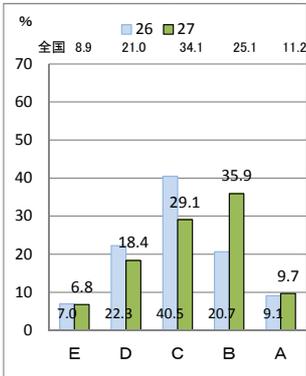
南さつま市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

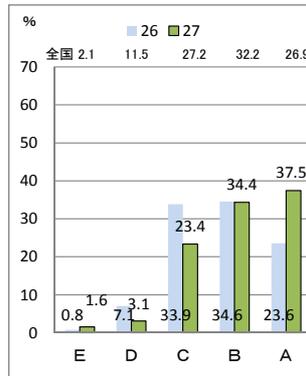
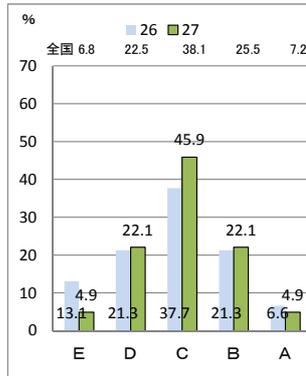
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、Bの割合が、県平均・全国平均を上回っており、全体でも、全国平均を上回っている。
- ・ 前年度と比較すると男子は、Bの割合が高く、C+Dの割合が低くなっており、体力向上が見られる。さらに、全体的な体力の向上を目指したい。
- ・ 女子は、Bの割合が減少し、D+Eの割合が、増加し、全体でも、県平均・全国平均を下回っている。
- ・ 前年度と比べると女子は、A+Bの割合が減少している。中間層と下位層の引き上げが課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 前年度と比較すると男子は、Eの割合が低く、B+C+Dの割合が高くなり、昨年度より体力の向上が見られる。
- ・ 男子は、A+Bの割合が、全国平均を下回っている。中間層から上位層の引き上げが課題である。
- ・ 女子は、AからEの全ての割合が、県平均・全国平均を上回っている。
- ・ 前年度と比べると女子は、A+Bの割合が高くなっている。さらに、全体的な体力の向上を目指したい。

【小学校 運動実施時間】

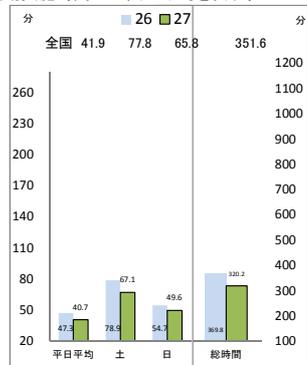
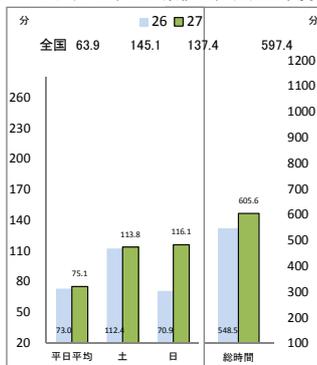
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



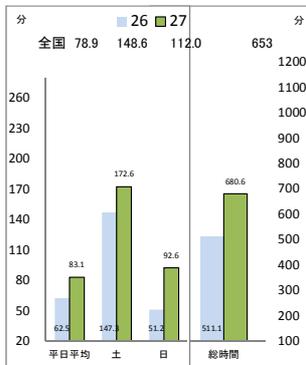
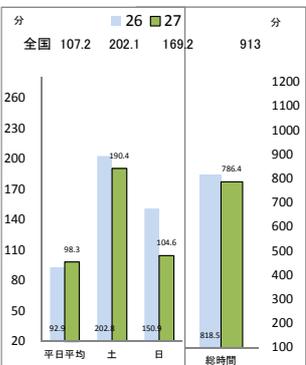
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 前年度と比較すると男子は、全ての日で、運動実施時間が増加している。
- ・ 男子は、平日の運動実施時間は、全国平均より高いが、土日の運動実施時間は、全国平均より低い。土日の運動実施時間の引き上げが課題である。
- ・ 女子は、平日の運動実施時間及び土日の運動実施時間ともに、全国平均より低い。
- ・ 前年度と比較すると女子は、全ての日で、運動実施時間が減少している。全体的に運動実施時間の引き上げが課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 前年度と比較すると男子は、土日で、運動実施時間が減少している。
- ・ 男子は、平日の運動実施時間及び土日の運動実施時間ともに、全国平均より低い。全体的に運動実施時間の引き上げが課題である。
- ・ 前年度と比較すると女子は、全ての日で、運動実施時間が増加している。
- ・ 女子は、平日の運動実施時間及び土日の運動実施時間ともに、全国平均より高い。日曜日の運動時間が全国平均よりやや低いので、日曜日の運動実施時間の引き上げが課題である。

【改善策】

【小学校】

・ 小学校の場合は「チャレンジかごしま」を100%実施する。

【中学校】

・ 中学校においても、「チャレンジかごしま」を実施する。

【共通・その他】

- ・ 教育課程に全学年の体力テストを位置付け、体力ナビ等を活用して、分析等を行い、自校の課題を明確にする。
- ・ 自校の課題に則した教科体育の充実(分かる・できる体育、運動量の確保、補強運動の充実、授業を通じた研修等)を行う。
- ・ 自校の課題を基に「一校一運動」の見直しを行う。
- ・ 家庭へ運動実施の啓発を行う。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

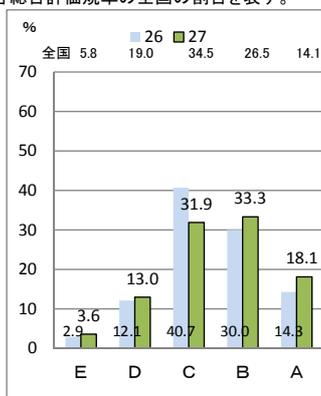
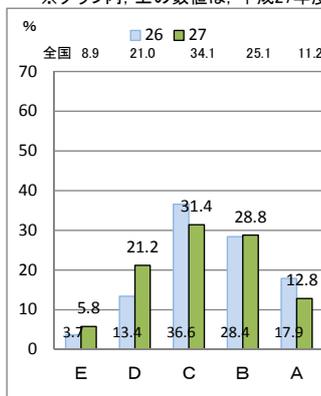
南九州市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

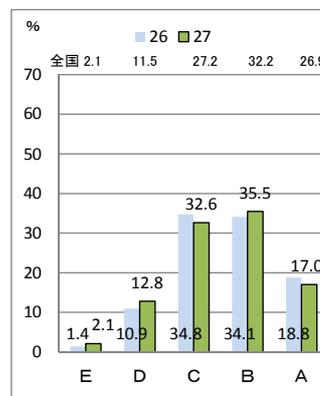
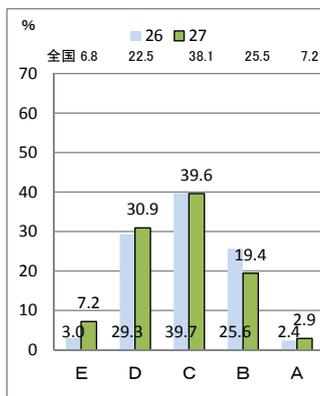
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高く、D+Eの割合が全国平均より低くなっている。D、Eの底上げとともに、一番多く割合を占めているCのB、Aへの引き上げが必要である。
- ・C+D+Eの割合は、男子が58.4%、女子が48.5%である。特に男子はA+Bの割合の5割到達を目指し、今後、さらに子どもたちの体力及び運動能力への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・全体的に全国及び県平均を上回っているが、男子は上体起こし、女子は長座体前屈と課題が明確であり、それに特化した手立てを市全体で考えていく必要がある。

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が高くなっている。D、Eの底上げとともに、CのB、Aへの引き上げが必要である。
- ・男子はDの割合が30.9%あり、全国平均より高くなっている。Eと併せて特にDの子どもたちの体力及び運動能力への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・男子は4種目、女子は5種目で県、全国を下回っており、質問紙調査から特に女子生徒が、体力、技能の向上だけを狙った画一的な授業において運動への苦手意識を感じているため、授業改善を早急に行う必要がある。

【小学校 運動実施時間】

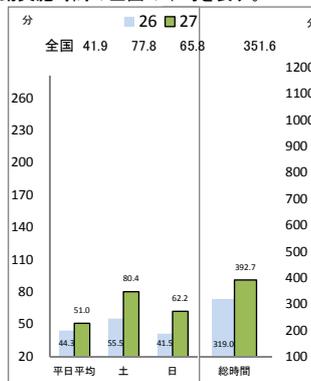
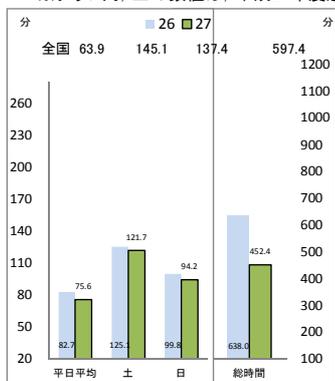
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



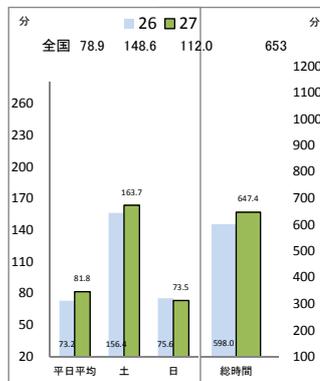
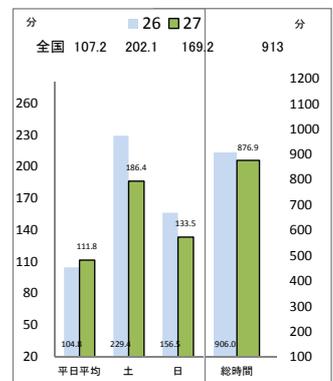
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・小学校男子は、平日の運動実施時間が全国平均より若干長いものの、女子は若干下回っている。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると、特に日曜日の運動時間が大きく下回っている。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国、昨年と比較すると男子が大きく下回っており、反対に女子は大きく上回っている。

〈現状及び課題〉

- ・中学校男女ともに、平日の運動実施時間については全国平均、昨年より若干長くなっており、向上が見られる。
- ・特に日曜日の運動時間は、男女ともに全国を下回っている。
- ・平日の平均は、男女ともに全国を上回っている。しかし、土日の運動時間が短いため、1週間の総運動実施時間は、全国をわずかに下回る結果となっている。

【改善策】

【小学校】

- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」の取組の充実、各学校の課題に重点化した「一校一運動」、授業改善(教え合い・学び合いの充実)

【中学校】

- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」の取組の充実、各学校の課題に重点化した「一校一運動」、授業改善(課題解決学習)

【共通・その他】

- ・小・中学校合同体育主任等研修会における各中学校区の体力面の課題の共通理解と共通実践事項の確認
- ・体力ナビによる児童生徒の自己の体力面の課題の自覚化を図る取組の推進
- ・家庭で運動に親しむ取組の啓発と休日(長期休業を含む)における運動に関する課題(宿題)の提示

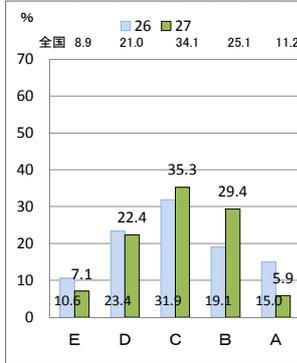
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

阿久根市 教育委員会

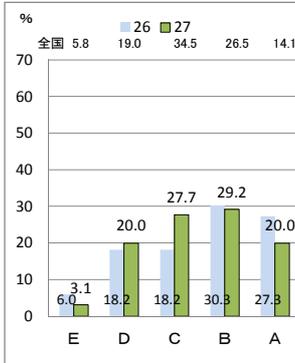
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

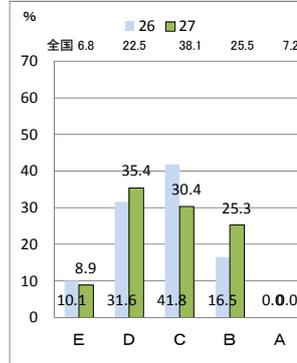


〔女子〕

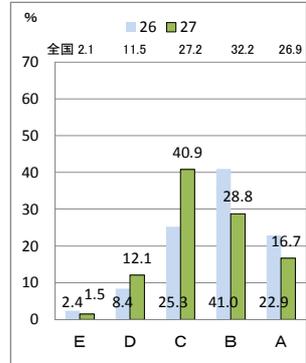


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〔現状及び課題〕

・男子は、評価Aの割合が全国平均値と比べ5.3%ほど小さくなっており、平成26年度と比較してもその割合は大幅に小さくなっている。その分、評価BCの上位から中間にかけての層が増えている。対して女子は、評価Aこそ前年を下回っているが、全体的には全国平均と同様の傾向が見られた。このことから、昨年度見られた体力総合評価の二極化については若干の改善が見られるが、上位層を増やしていくことが課題といえる。

〔現状及び課題〕

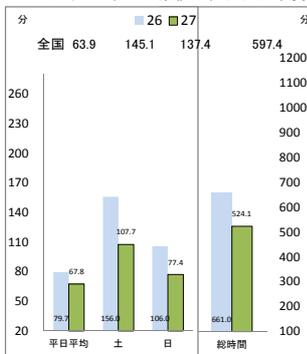
・男子は、全国平均と比べると、評価Aの割合が大幅に小さく、B評価が大きくなっているものの、評価D、Eの割合の合計は、大幅に大きくなっている。全体的に体力総合評価は低く、大きな課題といえる。
・女子は、評価Cについては全国平均と比べ大幅に大きく、評価B、D、Eの割合はほぼ全国平均と同様の数値を示している。概ねよい傾向であるが、評価Aの割合が若干小さくなっていることが課題といえる。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

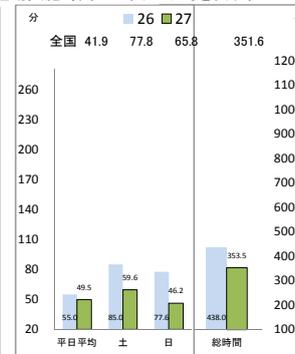
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

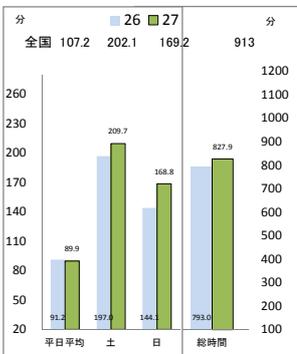
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

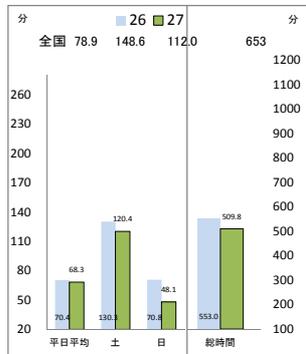
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〔現状及び課題〕

・男女とも、全国平均、前年度と比べ1週間の運動総時間は大幅に短くなっており、大きな課題といえる。遊びの時間が変わらない中、屋外や屋内運動施設で体を動かして遊んだりする機会が減少している。携帯端末(ゲーム機等)を使つての遊びが影響していると考えられ、適切な運動時間の確保が課題といえる。

〔現状及び課題〕

・男女とも、全国平均、前年度と比べ平日、土日全ての運動時間が大幅に短くなっている。特に女子の適切な運動時間の確保が課題である。

【改善策】

- ・小学校では体力総合評価、運動実施時間とも全国平均に近い結果であるのに対して、中学校では、特に女子が下回っている。運動実施時間と体力総合評価は密接に関わるため、各学校とも生徒の毎日の運動時間を正確に把握した上で、運動の必要性和効果について生徒に認識させる必要がある。
- ・運動時間と運動への苦手意識についても密接な関わりがある。そのため、運動が苦手な子供でも楽しく活動でき、得意な子供との差があまり出ないような運動について紹介し、運動に対する興味関心を高める必要がある。
- ・子供のみならず、保護者も運動を楽しみ、日常生活の中にも運動が定着するよう、啓発を進めていく必要がある。
- ・体育の授業において、運動が苦手な子供が苦痛を感じることがないように、個に応じた指導法を工夫したり、発問や声掛けに留意したりする必要がある。
- ・小学校では「チャレンジかごしま」に積極的に取り組み、中学校では中学校版「チャレンジかごしま」を行事等で活用していく必要がある。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

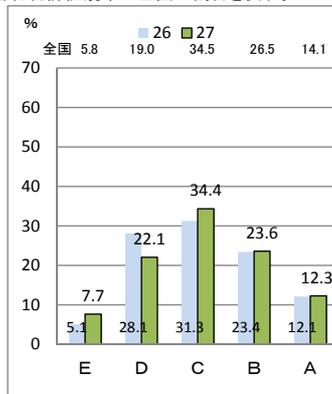
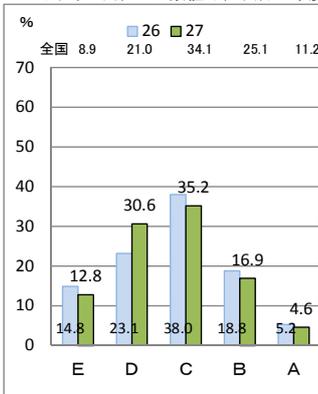
出水市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

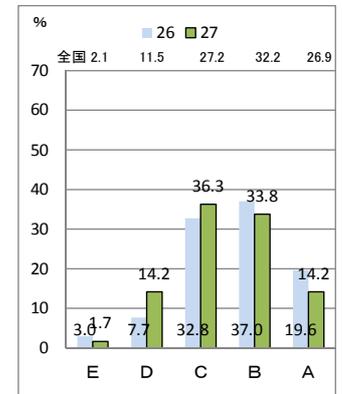
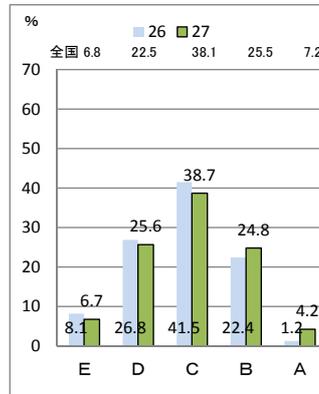
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女とも低く、D+Eの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男子は、A、B、Cの割合が低くなり、Dの割合が7.5ポイント増加しており、課題である。
- ・女子については、Dの割合が6ポイント減少しており、A、Bともに若干の改善が見られるが、Eの割合が、2.6ポイント増加しており、運動能力の二極化が進みつつある。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると、男女ともA+Bの割合が低く、D+Eの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男子は、A、Bの割合が増加し、D、Eの割合が減少しており、改善の傾向が見られる。
- ・女子については、Dの割合が6.5ポイント増加し、A、Bの割合が減少している。Eの割合が減少しているものの、上位の生徒の割合が低い傾向にある。

【小学校 運動実施時間】

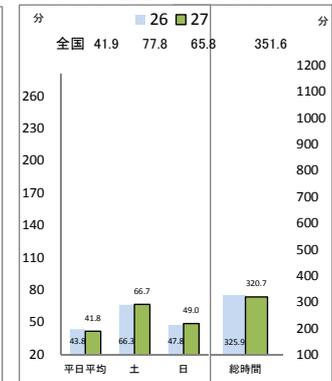
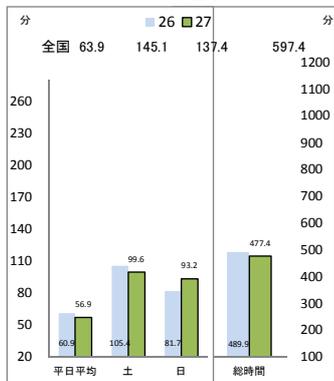
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

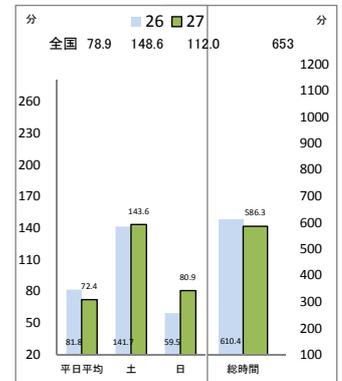
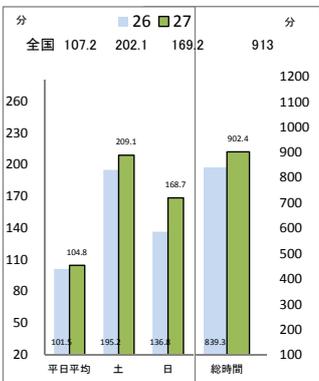
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると、平日の運動時間は男女ともほとんど差はないが、土・日・総時間の運動時間は、男子が短く、女子はわずかに短い。
- ・前年度と比較すると、女子は、土日の運動時間はわずかに増えているものの、男女とも1週間の運動時間は減少している。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動時間は、男子はほとんど差がなく土曜の運動時間は全国を上回っている。女子は1週間の運動時間が、短く課題である。
- ・前年度と比較すると男子は、平日、土日、1週間の運動時間が増加している。女子については、平日と1週間の運動時間がわずかに短くなっているが、土日の運動時間は、増えている。

【改善策】

【小学校、中学校共通】

- ・学校課題を踏まえて、授業の中で、年間を通して継続的に補強運動を取り入れる。(ランニング、長縄エイトマン、サーキットトレーニング等)
- ・学習の進め方や約束などの指導を計画的・効果的に行い、説明や話し合い活動の時間が、体育授業の総時間の20%を超えないように、80%以上の運動時間を確保する。
- ・運動時間確保プラン(たくましい"かごしまっ子"育成推進プラン)をもとにした平日の運動時間確保のための一校一運動の効果的な実施、歩育1kmの推進、チャレンジかごしま(長縄エイトマン等)の全校取組を行う。
- ・休日における運動やスポーツを促すための資料配付や市主催の運動行事への積極的参加を促す。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

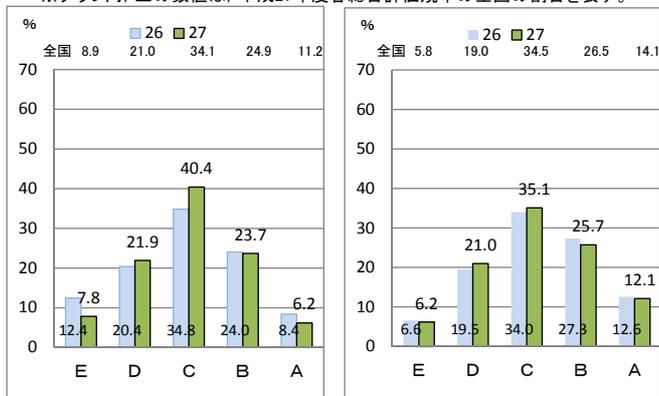
薩摩川内市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

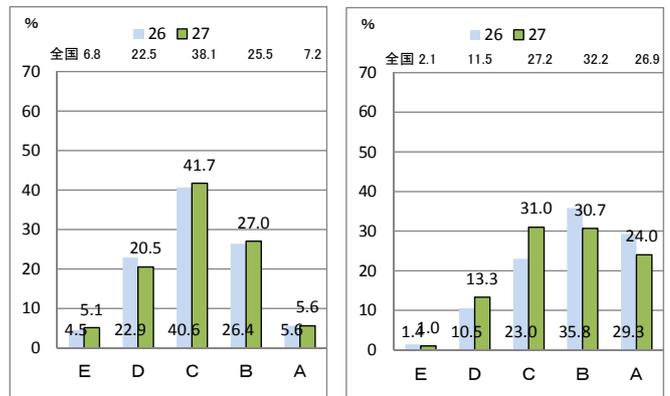
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男女ともA+Bの割合が低く、C+Dの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男女ともEは減少しているが、A+Bの割合も減少し、C+Dの割合が増加している。
- ・男女とも中間層の体力向上が課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男子はB+Cの割合が高いが、Aの割合は低い。女子は、C+Dの割合が高く、A+Bの割合が低い。
- ・前年度と比較すると、男子はDの割合が減少し、B+Cの割合が増加している。女子は、AとBの割合がそれぞれ5ポイント程減少し、C+Dの割合が増加している。
- ・男子の上位層と女子の中間層の体力向上が課題である。

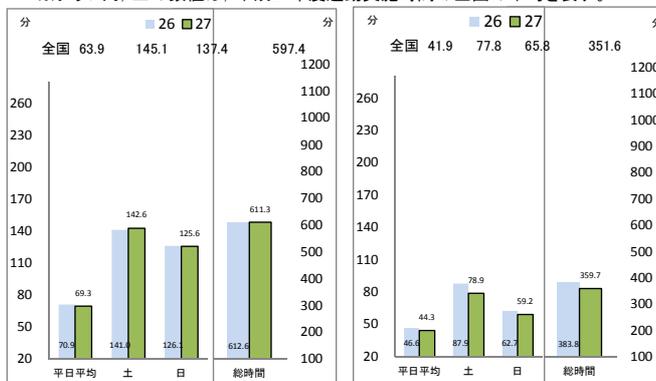
【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



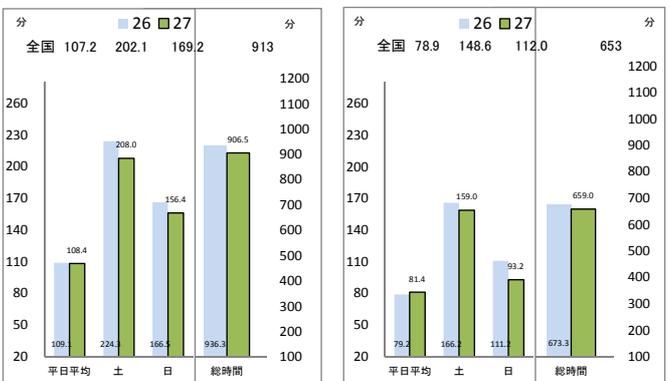
※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男女とも1週間の運動時間は長いですが、土・日の運動時間は短いので、土・日の運動時間を増やすことが課題である。
- ・前年度と比較すると、男子はほとんど変化がないが、女子は平日、土・日ともに運動時間が減少しており、1週間の運動時間が減少していることから、女子の運動時間を増やすことが課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男女ともに日曜日の運動時間が短く、さらに男子は1週間の運動時間も短い。
- ・前年度と比較すると、男女とも土・日、1週間の運動時間が減少している。
- ・男女とも土・日の運動時間を増やすことが課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・体育授業での動きづくりや課題に応じた補強運動の実施(課題である体力の重点的な取組、個の体力に応じた回数や時間等の目標設定)
- ・小学校体育主任等研修会の充実(体力の現状分析と具体的な手立ての紹介、各校における取組の情報交換)

【中学校】

- ・「チャレンジかごしま」の全校実施(体育授業における個の体力に応じた補強運動の実施、休み時間・特別活動での長縄跳び等の実施)

【共通・その他】

- ・学校の課題に応じた「たくましい「かごしまっ子」育成推進プラン」の実践(一校一運動の継続的な取組、家庭と連携した「一家庭一運動」の実施)
- ・休日の運動イベント(わくわく薩摩川内土曜塾)の情報提供や、学校における「薩摩川内元気塾」事業による講師を招聘した運動教室等の実施
- ・管理職研修会の活用(本市の体力の現状報告、PDCAサイクルによる体力向上の取組の推進、体育研究校の研究成果紹介)

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

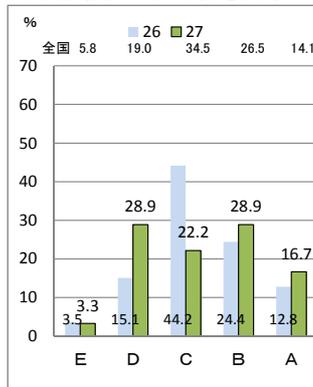
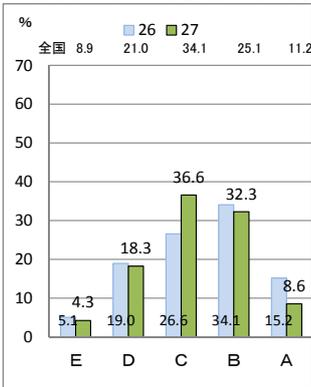
さつま町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

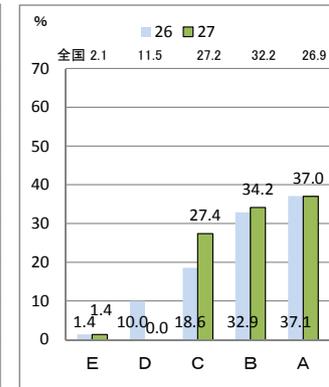
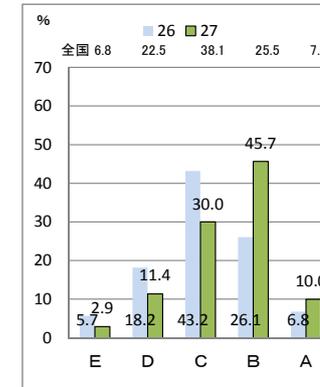
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較すると、男子はA+Bの割合が減少している。しかし、D+Eも減少しており、全体的に体力の二極化は解消しつつある。
- ・昨年度と比較すると、女子はA+Bの割合が増加しているが、Dの割合も増加している。女子は二極化が顕著になっている。
- ・全国と比較すると、男女ともA+Bの割合が全国を上回っており、概ね良好な結果と言える。

〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較すると、男女ともA+Bの割合が増加している。特に男子の増加率は著しい。
- ・昨年度と比較すると、男女ともD+Eの割合は減少している。特に女子は、Dは0%、Eは1.4%と二極化が解消されつつある。
- ・全国と比較しても、男女ともA+Bの割合が大きく上回り、D+Eの割合は大きく下回っており良好な結果と言える。

【小学校 運動実施時間】

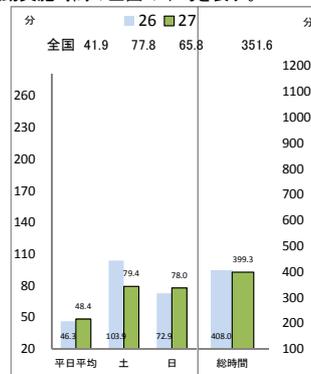
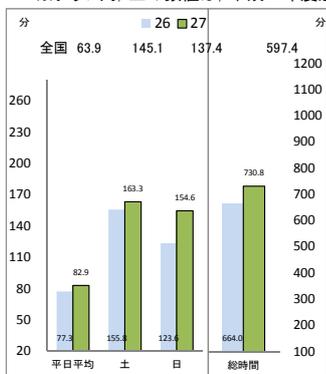
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較すると男子は、平日、土日とも昨年度よりも運動する時間が多くなっている。女子は、昨年度よりやや運動する時間は少なくなっている。
- ・全国と比較すると、男女とも平日、土日とも全国より運動する時間が多い。特に男子は、1週間の総時間で130分以上多くなっている。よく運動していることがわかる。

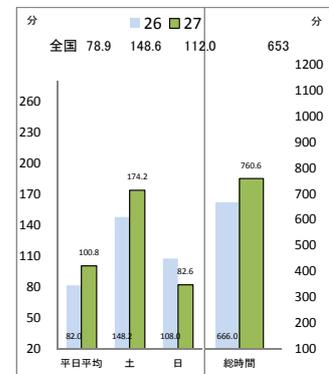
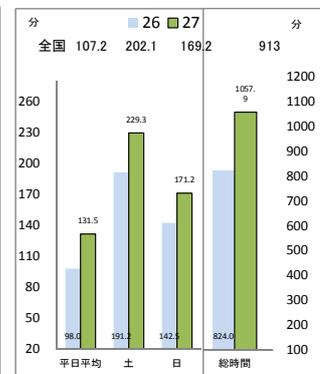
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・昨年度と比較すると、女子の日曜日以外は、男女とも昨年度よりも運動する時間は多くなっている。
- ・全国と比較しても、男女とも1週間の総時間で100分以上多い。よく運動していることがわかる。

【改善策】

〔小学校〕

- ・「体力向上！チャレンジがこしま」への申請率をあげるために、さつま町でも独自に「さつまランキング」を実施し、休み時間を中心に友達と体を動かす環境づくりを継続して進める。

〔中学校〕

- ・運動部活動への加入率が、男子が80%、女子が58.8%と全国と比較し男子で2.4ポイント、女子で1.5ポイント上回っており、部活動で体を鍛えている生徒の割合が多い。運動部活動に加入していない生徒の運動量を確保するために、教科体育の充実と業間での運動する時間の確保の工夫をする。

〔共通〕

- ・昨年度より、運動する児童生徒と、ほとんど運動しない児童生徒の二極化が課題であるが、昨年度と比較し、徐々に解消しつつある。学校では一校一運動の取組が定着しつつある。今後は家庭での親子のふれあいを通した運動の機会の啓発をしていく。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

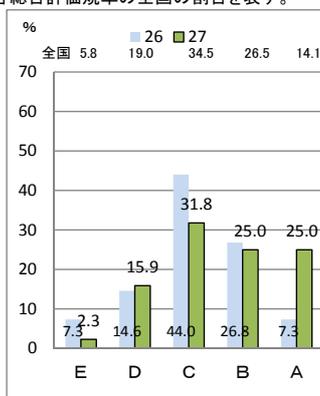
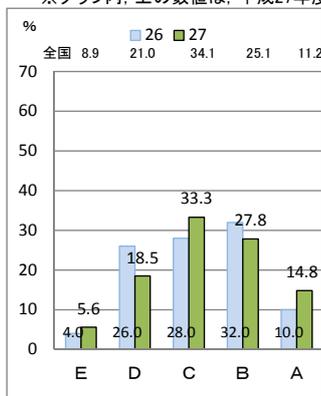
長島町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

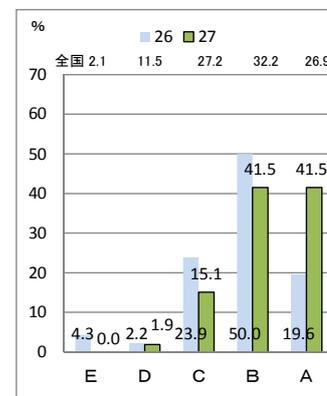
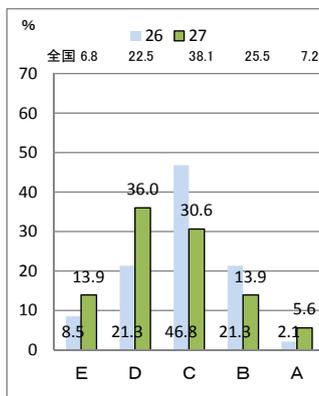
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が高く、D+Eの割合が低い。
- ・前年度と比較すると、男子はA+Bの割合が増加し、D+Eの割合が減少しているため改善の傾向にある。C及びEの割合の引き上げが課題である。
- ・女子も、A+Bの割合が大きく増加し、D+Eの割合が減少しているため改善の傾向にある。C及びDの割合の引き上げが課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男子はA+Bの割合が低く、D+Eの割合が高い。女子はA+Bの割合が高く、D+Eの割合が低い。
- ・前年度と比較すると、男子はAの割合が3.5ポイント増加しているが、D及びEの割合も大きく増加しており課題である。
- ・女子は、A+Bの割合が大きく増加し、D+Eの割合が減少しているため改善の傾向にある。C及びDの割合の引き上げが課題である。

【小学校 運動実施時間】

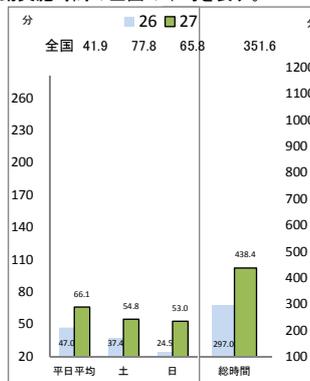
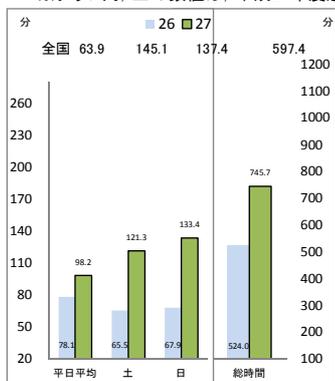
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日及び土・日、総時間について、男女とも全国平均より長い。
- ・前年度と比較しても男女とも運動実施時間が長く、運動実施時間の確保及び運動習慣の継続が課題である。

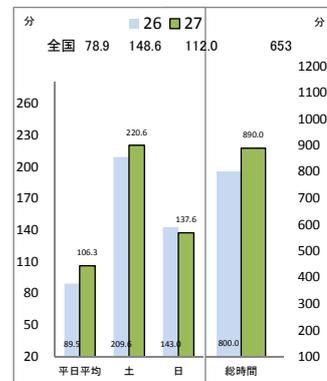
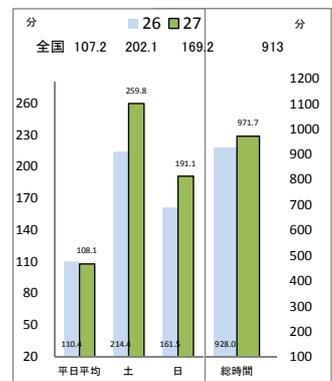
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、男子は平日の時間にほとんど差はなく、土・日、総時間は長い。女子は、平日、土・日、総時間ともに長い。
- ・前年度と比較しても男女とも運動総時間はわずかに長く、運動実施時間の確保及び運動習慣の継続が課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・「一校一運動」の取組の継続及び工夫改善を図り、運動に親しむ習慣を身に付けさせる。

【中学校】

- ・適切な運動部活動の在り方や効果的指導法について、管理職研修会や町保健体育部会等において周知する。

【共通】

- ・運動の苦手な児童生徒や運動部活動に加入していない生徒に対する啓発を行うと共に、生活習慣についても管理職や養護教諭への指導を行う。
- ・学校・家庭・地域との連携及び関係機関との連絡を図り、地域行事や町主催行事への積極的な参加を促す。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

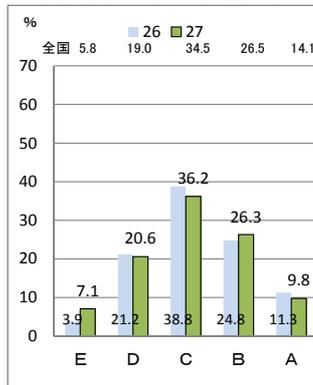
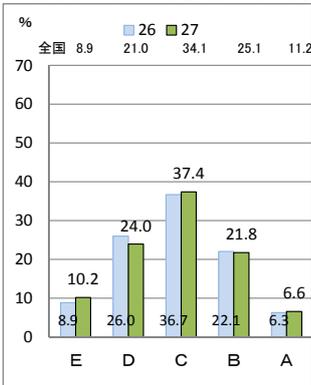
霧島市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

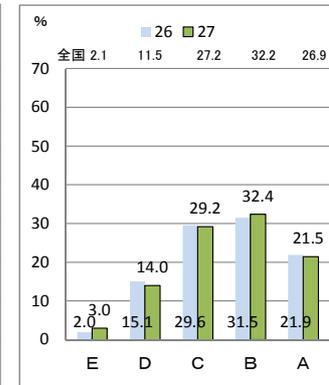
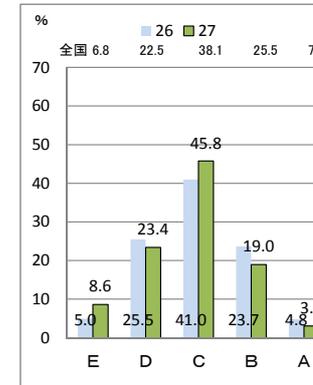
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女ともにA及びBの割合が全国平均より低く、D及びEの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男女ともにA及びBの合計数は、平成26年度と同数である。(男子28.4、女子36.1)
- ・中間層のCの割合も平成26年度同様、全国平均より高いので、この層を伸ばすことも課題である。

〈現状及び課題〉

- ・男女ともにAの割合が全国平均より低く、D及びEの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。特に、男子のA及びBの割合が、平成26年度より低くなっているのが懸念である。
- ・女子のA及びBの合計数は、平成26年と比較して、若干増加していることから、少々ではあるが、向上が見られる。
- ・中間層のCの割合も平成26年度同様、全国平均より高いので、この層を伸ばすことも課題である。

【小学校 運動実施時間】

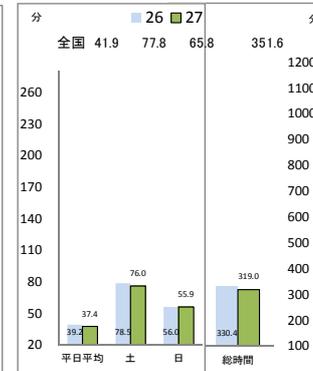
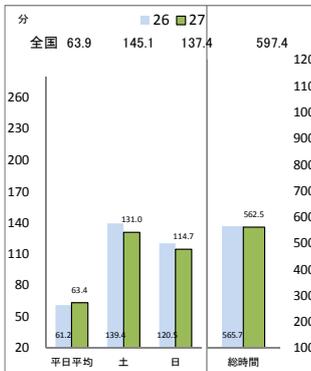
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



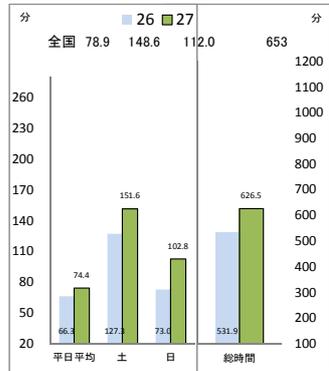
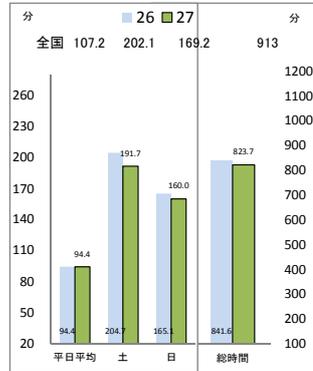
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに平日及び土、日曜日の運動実施時間は、全国平均に比べて少ない。
- ・平成26年度に比べても、運動実施時間は減少している。
- ・体力・運動能力の伸び悩みと1週間の総運動実施時間の少なさが関連していると考えられる。

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに平日及び土、日曜日の運動実施時間は、全国平均に比べて少ないが、女子の運動実施時間は平成26年度に比べて増加している。
- ・運動実施時間が増加した女子の体力・運動能力に向上の兆しが見られるように、体力・運動能力と1週間の総運動実施時間は関連していると考えられる。男子の総運動時間を増加させる必要がある。

【改善策】

- ・教育課程に、全学年の体力・運動能力テストの実施を今後も位置付け、体カナビ等を活用して分析を行い、自校の課題を明確にする。
- ・自校の課題に即した運動メニューを、体育の授業等を利用して継続実施するように、市全体で共通理解する。
- ・「チャレンジかごしま」の全校的な取組の推進を図る。
- ・中学校においては、運動部活動と連携を図り、自校の体力向上の課題解決を図る。

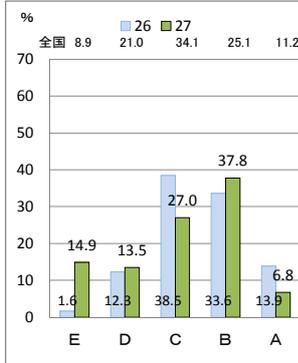
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

伊佐市 教育委員会

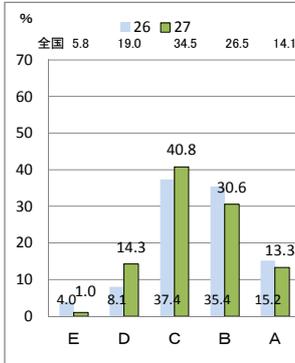
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

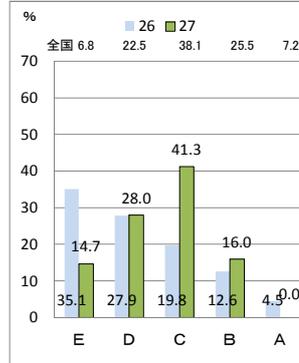


〔女子〕

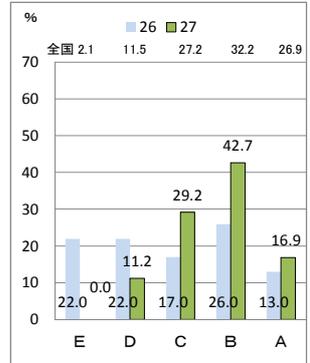


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〔現状及び課題〕

- ・男子の総合得点は、県平均、女子は全国平均を上回っている。
- ・男女ともA+Bの割合は高い。
- ・女子はEの割合が減少したが、男子は増加している。
- ・男子のAの割合が減少した。

〔現状及び課題〕

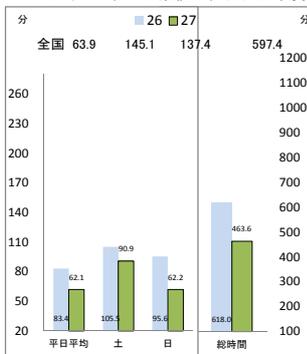
- ・男子の総合得点は、全国、県平均を下回っている。
- ・女子の総合得点は、県平均を上回っている。
- ・男女ともEの割合が減少した。
- ・女子はA+Bの割合が増加した。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

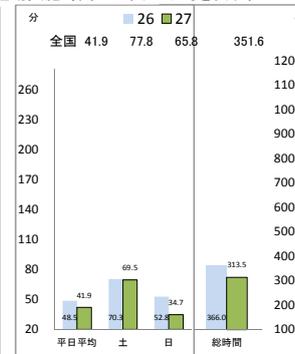
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

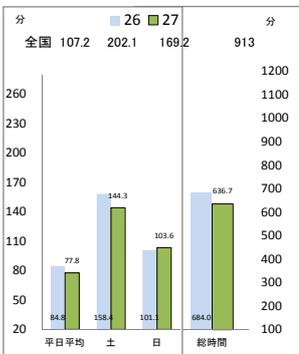
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

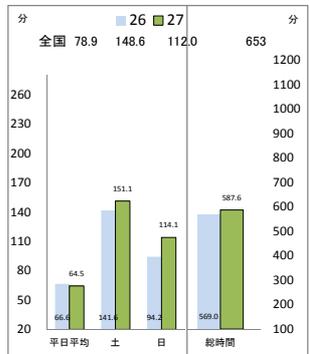
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〔現状及び課題〕

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともほとんど差がなく、土日は男女とも短い。また、1週間の運動時間は、男女とも短い。
- ・前年度と比較すると、平日、土日、1週間の運動時間は、男女とも減少しており課題である。

〔現状及び課題〕

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともほとんど差がなく、土日は男子が短い。また、1週間の運動時間は、男女とも短い。
- ・前年度と比較すると、女子は運動時間が増加傾向にあるが、男子は平日、1週間の運動時間が減少しており課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・体育主任等会で「伝承遊び」や「集団遊び」を紹介しながら、平日の運動時間を確保する。
- ・体幹トレーニングを推奨し、継続的な運動の実施を啓発する。

【中学校】

- ・体幹トレーニングを推奨し、継続的な運動の実施を啓発する。
- ・運動部活動指導者の指導法改善を行うために研修会等への参加を積極的に促す。

【共通、その他】

- ・管理職研修会等で体幹トレーニングの具体的実践例の資料を提示する。

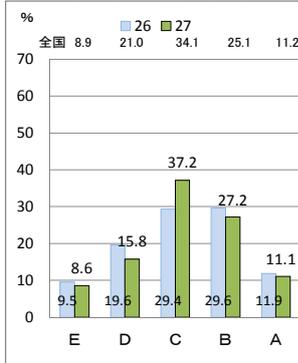
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

始良市 教育委員会

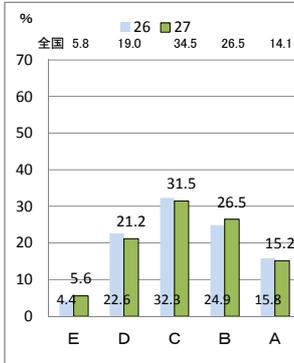
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

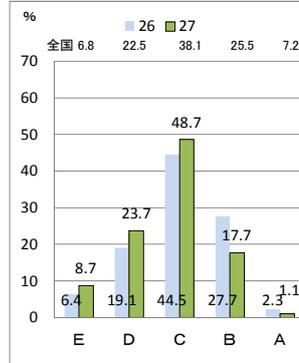


〔女子〕

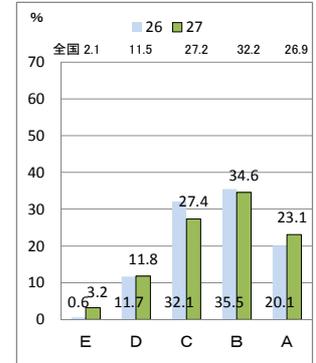


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〔現状及び課題〕

- ・全国と比較してA+Bの割合が男女ともわずかに高い。女子はDの割合が高くなっている。
- ・前年度と比較すると、男子はD+Eの割合が4.7ポイント減少しているが、A+Bも3.2ポイント減少しており、Cの児童の底上げが必要である。女子はBが1.6ポイント増加しているが、Eが1.2ポイント増加している。Eの児童の運動への興味関心を高める取組が必要である。

〔現状及び課題〕

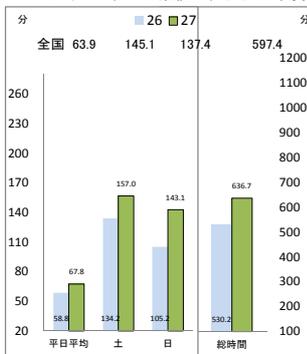
- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女とも低く、D+Eの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男子はA+Bの割合が11.2ポイント減少し、D+Eが6.9ポイント増加している。女子はAの割合が3ポイント増加しているが、Eの割合が2.6ポイント増加している。男女ともD、Eの生徒へ運動の楽しさを実感させ、体力向上への意欲を高める取組が必要である。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

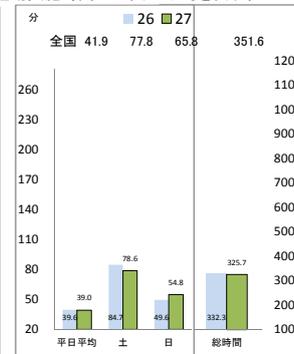
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

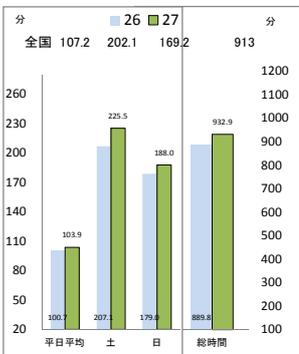
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

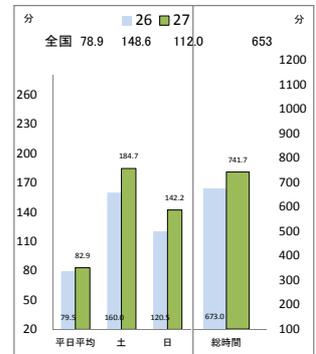
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〔現状及び課題〕

- ・全国と比較した運動実施時間は、男子はおおむね全国を上回っており、女子は平日、日、総時間が全国を下回っている。
- ・前年度と比較すると、男子は平日、土日、総時間ともに増加している。女子は前年度と比較して、ほとんど増加していない。女子の運動実施時間を増やす取組を学級での取組を中心に工夫する。

〔現状及び課題〕

- ・全国と比較した運動実施時間は、男子の平日がわずかに短いものの、他は男女ともに長い。
- ・前年度と比較すると、男女とも平日、土日、総時間ともに、運動実施時間は増加している。
- ・運動実施時間を意識した取組を継続する。

【改善策】

【小学校】

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組の充実(学級での取組を中心に実施※運動実施時間の増加)

【中学校】

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組の充実(教科体育の導入時を中心に実施※運動の楽しさ、爽快感を感じさせる機会の増加)

【共通・その他】

- ・調査結果分析を踏まえた教科体育の充実(重点指導事項を明確にした授業実践)
- ・指導力向上を図る実技研修会、運動部活動顧問研修会、体育主任等研修会等の実施
- ・一日60分運動の推進(始業前や休み時間等を活用した運動・外遊びの推進)
- ・一家庭一運動の実践(家庭で運動に親しむ取組の啓発と休日(長期休業を含む)における運動に関する課題の提示)

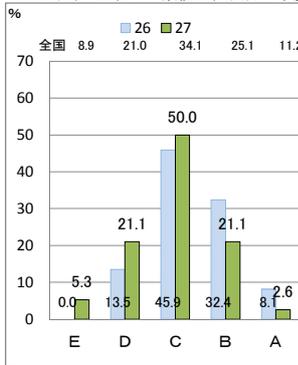
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

湧水町 教育委員会

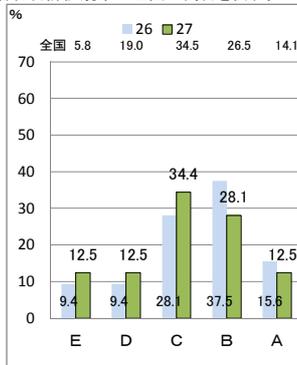
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

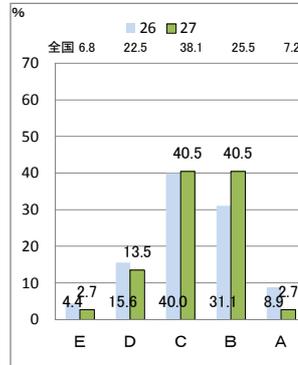


〔女子〕

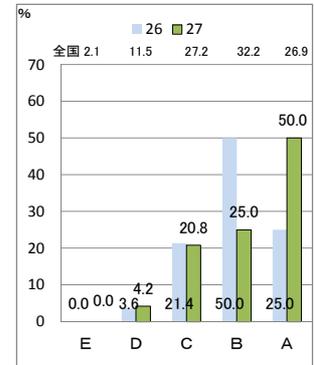


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

・男女ともにA+Bの割合が、全国平均及び昨年度を下回っている。また、Eの割合が高くなっている。

・「運動やスポーツは大切」「体育の授業は楽しい」という気持を持たせる取組を工夫・導入し、運動習慣を身に付けさせる必要がある。

〈現状及び課題〉

・男女ともに全国平均を上回っている。特に女子のAは50%を占めている。男子については、Aの割合が全国や昨年度を下回っているため上位層への指導を強化したい。

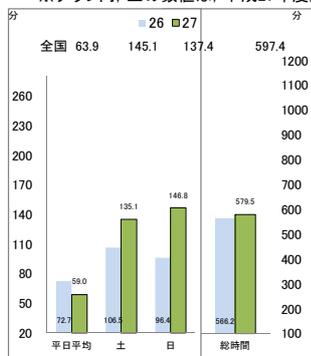
・「技や動きができるようになった」「たっぷり動ける」「練習やゲームを自分たちで工夫し成果を実感できた」などの喜びを実感できる体育授業の継続が課題である。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

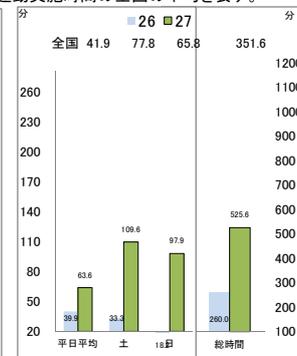
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

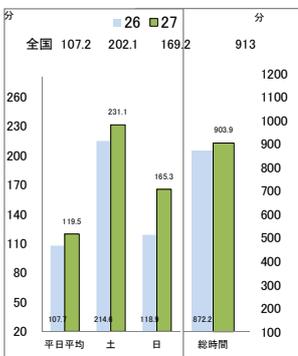
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

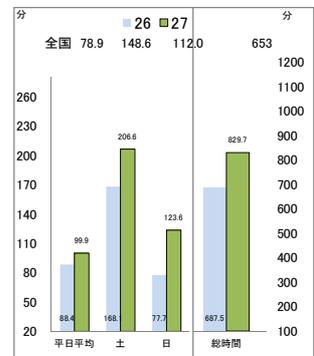
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

・男女ともに昨年度を上回っている。
・女子の運動実施時間は、全国を大きく上回っている。
・運動時間の確保の現状を把握し、学校と家庭が連携して取り組む必要がある。

〈現状及び課題〉

・男子の運動実施時間は、全国平均との差が殆どない。女子については、平日、土日ともに全国を上回っている。

・運動時間の現状の継続が課題である。

【改善策】

＜小学校＞

・現在取り組んでいる早朝や放課後などの課外時間を活用した運動の継続
・県と連携して取り組んでいる運動に親しむチャレンジランキングの取組の継続(8の字縄跳び以外の多様な種目への挑戦)

＜中学校＞

・体育授業における体力向上を意図した〇〇タイムの設定
・部活動に参加しない生徒の運動時間の把握と家庭と連携した運動時間確保の取組強化

＜共通・その他＞

・運動の重要性や児童生徒の運動時間確保の現状と課題についての家庭への説明と連携推進

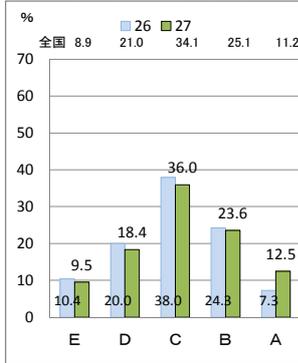
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

鹿屋市 教育委員会

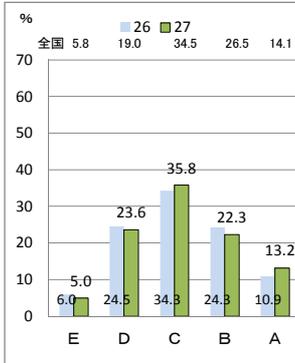
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

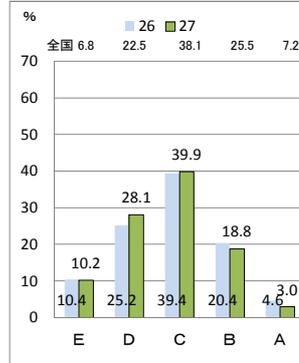


〔女子〕

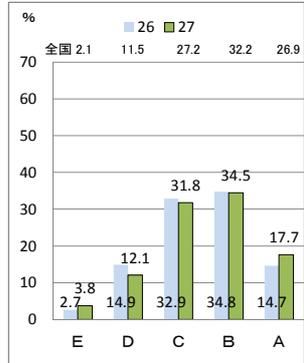


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・A+Bの割合は、男子は全国平均と同程度で、女子は低い傾向がある。D+Eの割合は、男子は全国平均より低いが、女子は高い傾向がある。
- ・男女ともに、Aが増加傾向が見られ、Eが減少傾向が見られる。昨年度と比較して、改善傾向が見られる。
- ・特に女子に対し、家庭との連携を図った取組等の充実を図っていききたい。

〈現状及び課題〉

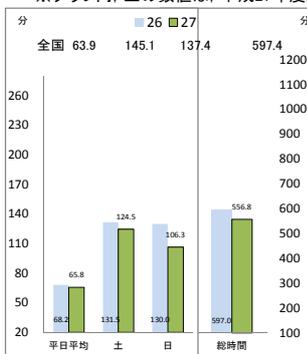
- ・A+Bの割合は男女とも全国平均よりも低く、D+Eの割合は高い。家庭や地域と連携を図り上位層への引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・昨年度と比較してAが増え、女子でやや改善傾向が見られる。しかし、男女とも、中・下位層の引き上げのため、体力向上の取組や運動への興味・関心を高める取組が必要である。

【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

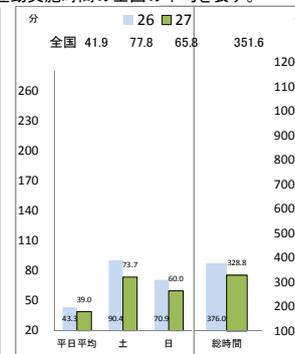
(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



〔女子〕

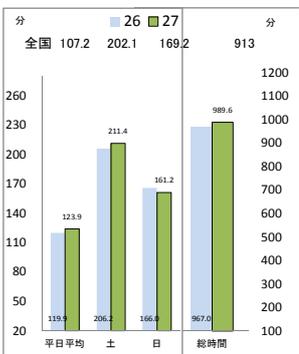
(平日の平均及び土日)(1週間)



【中学校 運動実施時間】

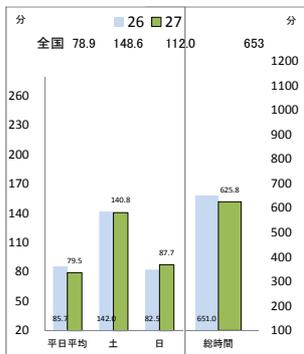
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・男子の平日を除き、男女ともに総じて全国平均を下回っている。
- ・昨年度よりも男女ともに運動実施時間が減少しているため、家庭や関係機関等と連携し、運動時間を増やす取組を行う必要がある。
- ・中学校において急激に運動時間が増えるので、中1ギャップの解消の点からも、男女ともに小学校段階で更に運動時間を増やす必要がある。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・男子は、平日や総運動時間は全国平均を上回っており、部活動や地域等との連携が図られている。昨年度と比較して運動時間の増加傾向が見られる。
- ・女子は、平日や総運動時間は全国平均を下回っており、昨年度より運動時間の減少傾向が見られるので、特に平日の運動時間を増やす取組の充実を図っていく必要がある。

【改善策】

【小学校】

- ・小学校の体育担当者会においては、市内の模範的な取組の紹介や具体的な資料の提供と啓発を図る。

【中学校】

- ・中学校においては、運動部活動や関係機関等との連携を更に強化する。

【共通、その他】

- ・各中学校区における小中連携の取組において、体力向上や体育的行事に係る取組の充実を図り、9か年を見通した体力向上を図る。
- ・すべての小中学校において「チャレンジかごしま」に取り組むとともに、体力ナビを活用し、個に応じた指導の徹底を図る。
- ・各学校の「たくましかごしまっ子育成推進プラン」や「一校一運動」の見直しや充実を図る。
- ・PTAや家庭教育学級において体力向上の研修会や講座を設定し、親子で体を動かしたり、保護者への啓発を図ったりする。

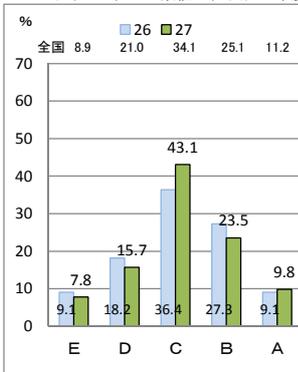
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

垂水市 教育委員会

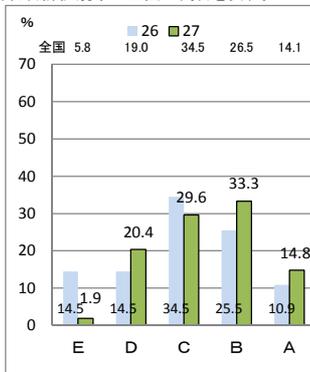
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

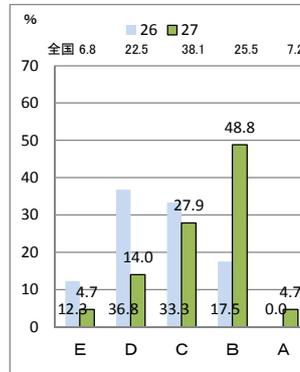


〔女子〕

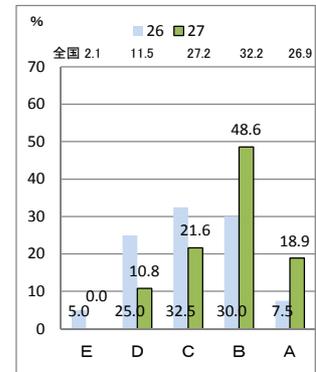


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

○A+Bの割合が男子は全国平均より低く、女子は上回っている。しかし、Eの占める割合は全国平均よりずいぶん低くなっており、男女共に昨年度と比較して、体力が向上しつつある。
○男女ともにD+Eの割合が約23%あり、体育の授業以外の運動への興味関心を高める工夫が必要である。
○男女ともに体力合計点が県・全国の平均を上回っている。今後も握力・瞬発力・筋持久力を高めるために鉄棒・反復横跳び・縄跳び・ランニング等の取組を継続する必要がある。

〈現状及び課題〉

○男女ともにA+Bの割合が全国平均よりかなり高く、D+Eの割合が低い。体力合計点が県・全国を上回っている。昨年度と比較して飛躍的に体力が向上している。しかし、男女ともBの割合が高く、Aの割合が低い傾向にある。
○男女ともにD+Eの割合が全国平均より低くなっている。
○女子は、上体起こし、立ち幅跳び、ハンドボール投げに課題がある。よって、瞬発力・投力を高めるための運動を意識的に取り組む必要がある。

【小学校 運動実施時間】

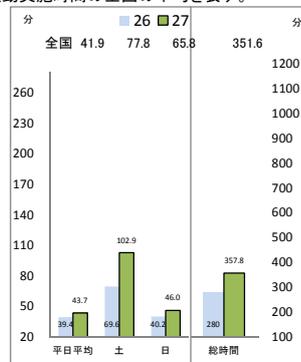
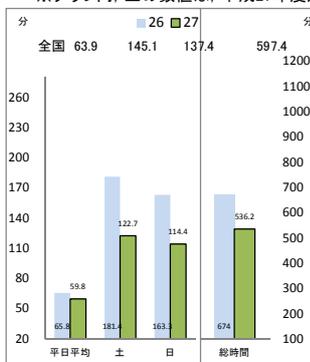
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

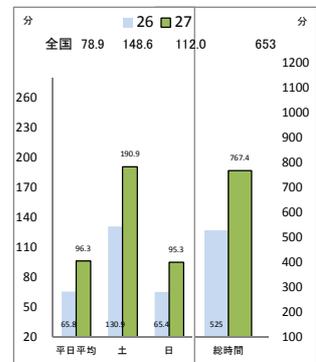
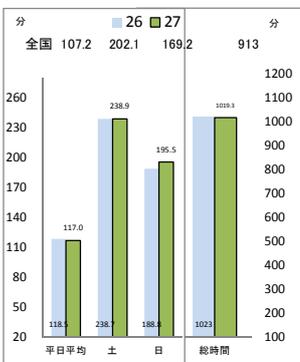
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

○男子は、全ての運動実施時間が全国平均をやや下回っている。また、昨年度と比較しても運動時間が少なくなっている。
○女子は、総時間が全国平均より上回っている。昨年度と比較しても運動量が多くなっている。
○男女ともに学校生活、家庭生活において、屋内外における運動時間(運動量)の確保に努める必要がある。

〈現状及び課題〉

○男女ともに全ての運動実施時間が全国平均を上回っている。体力と運動能力との相関性があると考えられる。
○女子は、昨年度に比べ、運動時間(運動量)がかなり増加している。
○中学校では、部活動等での取組が運動実施時間に大きく反映されていると思われるため、入部していない生徒については、個別に対応を図る必要がある。

【改善策】

【小学校】

- 「体力アップ! チャレンジかごしま」の種目を活用しての体力向上を意識した特色ある教育活動の取組の充実
- 「一校一運動」「みんなで遊ぶ日」の設定による組織的な取組の充実

【中学校】

- 「体力アップ! チャレンジかごしま」を活用しての学年・学級による取組の推進
 - 保健体育の授業における補助運動(ランニング、ラジオ体操、腹筋、腕立て、馬跳び等)の継続と運動部活動の充実
- 【共通・その他】
- 「チャレンジ! 体力アップ」の推進
 - 各学校の不得意種目に対する目標値・具体策の設定と継続的な取組の推進
 - 校内体力向上推進委員会による体力・運動能力向上のための対策の検討(PDCAサイクル)

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

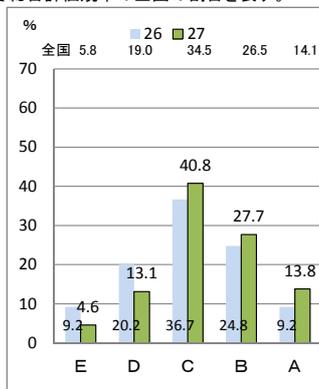
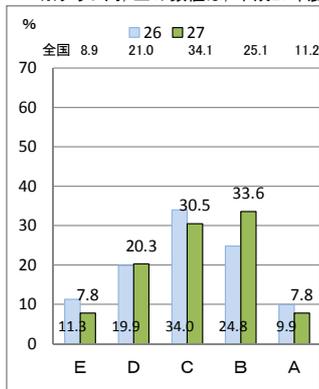
豊於市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

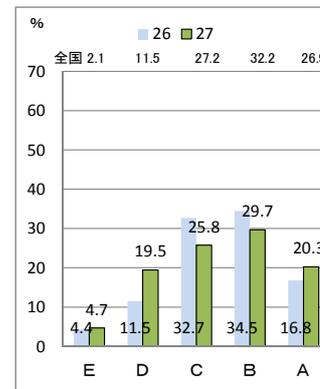
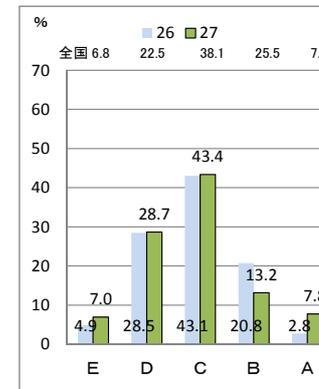
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下 中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女とも高く、D+Eの割合が低い。
- ・前年度と比較すると、男子はBが増加し、E、Cの割合が減少している一方、Aの割合が2.1ポイント減少しており課題である。
- ・女子はE、Dの割合が減少し、A、Bの割合が増加している。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+Bの割合が男女ともに低く、D+Eの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男子はAの割合が増加しているが、Bの割合が7.6ポイント減少し、Dが0.2ポイント、Eが2.1ポイントそれぞれ増加しており課題である。
- ・女子はCの割合が減少し、Aの割合が増加しているが、Bの割合が4.8ポイント減少し、Dが8ポイント、Eが0.3ポイントそれぞれ増加しており課題である。

【小学校 運動実施時間】

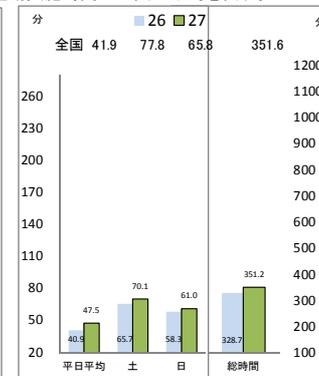
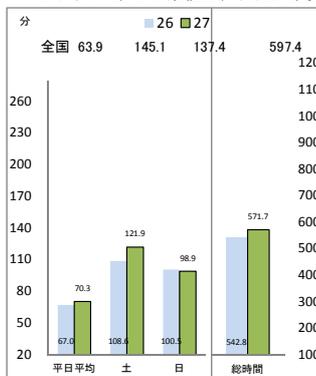
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



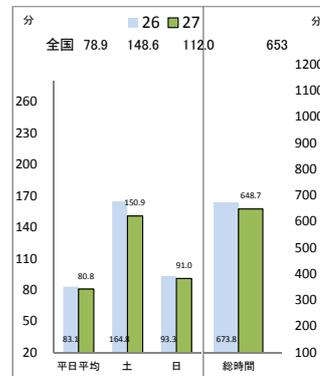
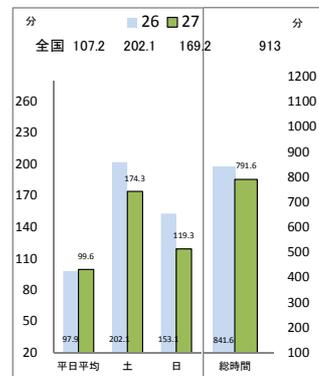
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともほとんど差がないが、男子は土曜日がわずかに短く、日曜日は短い。女子は土・日ともほとんど差がない。1週間の運動時間は、男子はわずかに短く、女子はほとんど差がない。
- ・前年度と比較すると女子は、平日、土日、1週間の運動時間が増加しているが、男子は、日曜日が減少しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともほとんど差がないが、男子は土曜日がわずかに短く、日曜日は短い。女子は日曜日がわずかに短い。1週間の運動時間は、男子が短い。
- ・前年度と比較すると男子は平日の運動時間が増加しているが、土日、1週間ともに、女子は平日、土日、1週間ともに減少しており、課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・朝活動等を利用した全校でのランニングや縄跳び等体力向上のための時間の確保、教科体育における補強運動やサーキットトレーニング等の実施

【中学校】

- ・運動部活動の加入率向上のための啓発、体育的学校行事(体育大会、駅伝大会、持久走大会等)における運動量の確保

【共通、その他】

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」における申告学級の増加と複数種目への挑戦
- ・「たくましい「かごしまっ子」」育成推進プランの推進強化(運動時間確保プラン、一校一運動への取組)
- ・休日における運動やスポーツ活動促進に向けての資料作成及び広報活動

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

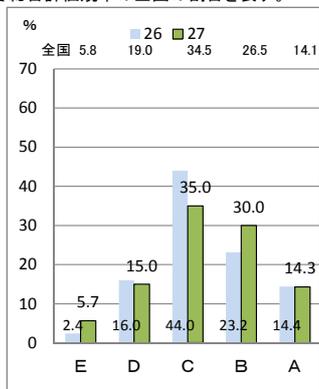
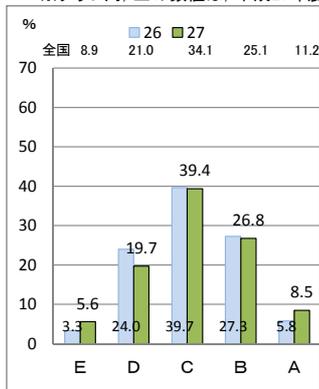
志布志市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

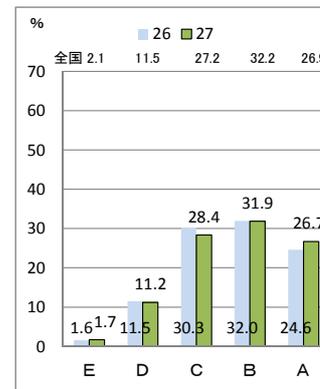
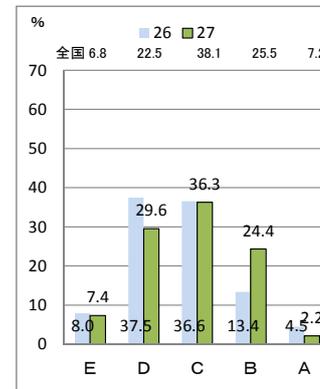
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、D+Eの割合が男女とも低い。また、男子は全体的に全国と同等程度であるが、女子は上位層の割合が多い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はAの割合が2.7ポイント増加している。しかしEの割合が2.3ポイント増加しており課題である。
- ・ 女子はBの割合が6.8ポイント増加している。しかしEの割合が3.3ポイント増加しており課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、A+Bの割合が男女とも低い。女子は全体的に全国と同程度であるが、男子は上位層の割合が少ない。
- ・ 前年度と比較すると、男子はE、Dの割合が減少し、Bの割合が11.0ポイント増加しているが、Aの割合が2.3ポイント減少しており課題である。
- ・ 女子は大きな変化は見られないが、Aの割合が2.1ポイント増えている。

【小学校 運動実施時間】

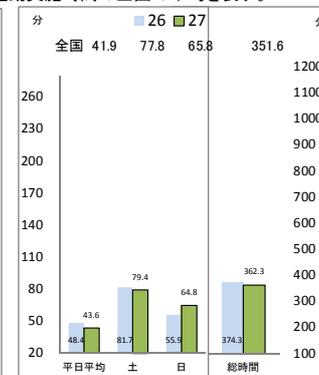
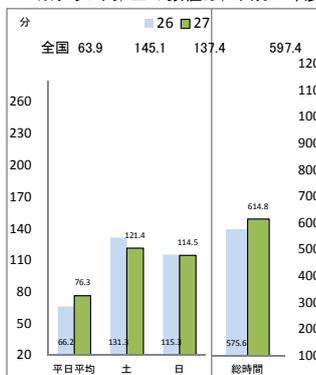
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



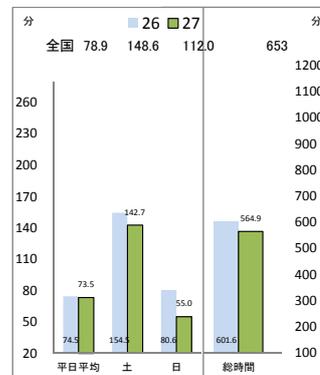
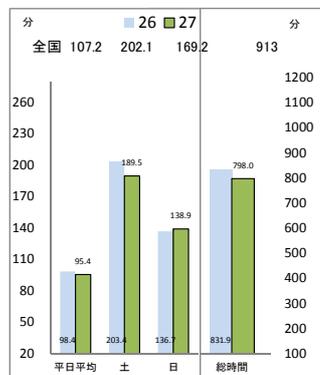
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、平日は男女とも長く、男子は土・日、女子は日曜日が短い。また、1週間の運動時間は男女ともほとんど差はない。
- ・ 前年度と比較すると、男子は平日、1週間の運動時間が増加しているが、女子は日曜日以外は減少しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、平日、土・日、1週間の運動時間のすべてにおいて、男女ともに短い。
- ・ 前年度と比較すると、男子は日曜日に増加しているが、それ以外は減少しており課題である。また、女子は平日、土・日、1週間の運動時間のすべてにおいて減少しており課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・ 全学校、全学級における「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組推進と、特色ある一校一運動の定着を図る。

【中学校】

- ・ 全学校、全学級における「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組推進と、特色ある一校一運動の定着、運動及び生活習慣に関する授業や行事の充実を図る。

【共通、その他】

- ・ 家族と一緒に運動する取組の推進と、土曜体験広場(第3土曜日)における地域での運動活動の充実を図る。
- ・ 体ほぐしの運動や運動遊びを生かし、運動好きな児童生徒を育成する教科体育の充実を図る。

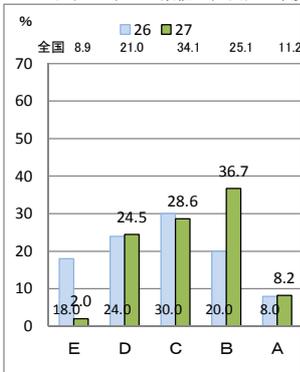
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

大崎町 教育委員会

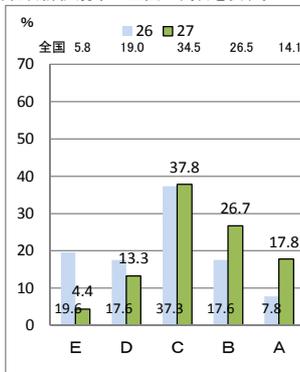
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

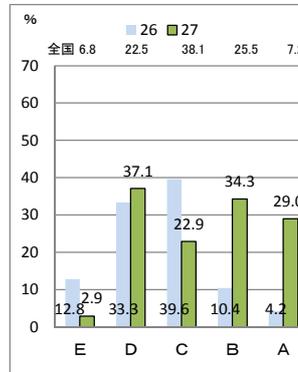


〔女子〕

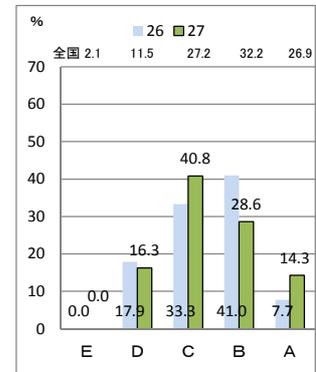


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、A+B(男子全国36.3 大崎44.9 女子全国40.6 大崎44.5)の割合が男女とも高く、D+Eの割合は低い。
- ・前年度と比較すると、男子はEの割合が減り、Bの割合が高くなっている。女子についても、D+Eの割合が減り、A+Bの割合が高くなっている。
- ・小学生は男女ともに前年度よりも総合評価が高い児童が多くなった。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男子のA+B(全国32.7 大崎63.3)は高いが、女子は全国よりも低い割合となっている。(全国59.1 大崎42.9)
- ・前年度と比較すると、男子はCとEの割合が減り、A+Bの割合が高くなった。女子は、Bの割合が減り、AとCがそれぞれ増えている。

【小学校 運動実施時間】

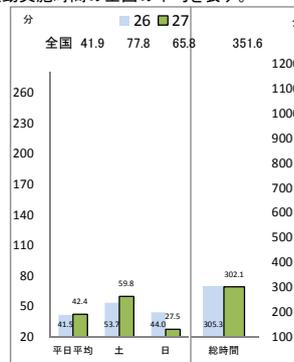
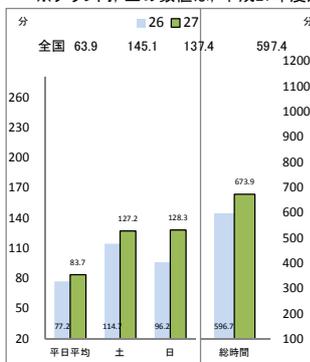
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



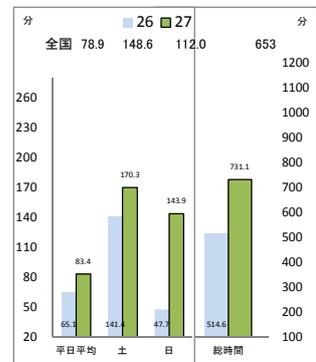
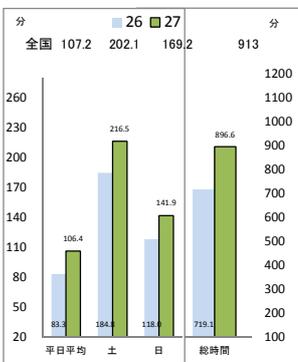
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した男子の運動実施時間、平日は長い土・日は短い。総時間は長くなっている。
- ・女子の平日は全国とほとんど差はないが、土・日(特に日曜)の運動時間が全国平均の半分以下)は大きな課題である。
- ・前年度と比較すると男子は全体的に長い、女子は日が減少している。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると男子の平日・土はほとんど差はないが、日は短い。女子はどの項目も長くなっている。
- ・前年度と比較すると、男女ともに運動時間が増加している。

【改善策】

【小学校】

- ・小学校体育連盟と連携した行事(水泳記録会・陸上記録会)の取組の充実
- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」への年間を通じた取組の推進

【中学校】

- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」の取組を充実させ、教科体育、課外活動の時間等における体力向上を推進

【共通、その他】

- ・教科体育の時間に、毎時間運動量を確保する基礎体力を養う運動の時間を確保(町体力向上推進協力校による研究授業・授業研究の提供)
- ・日々の運動時間を増やすため、徒歩での登下校を一層推進し、運動時間や運動量の確保(歩いて登校ゾーン「WZ」の推進)

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

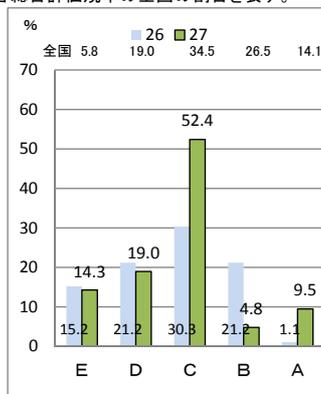
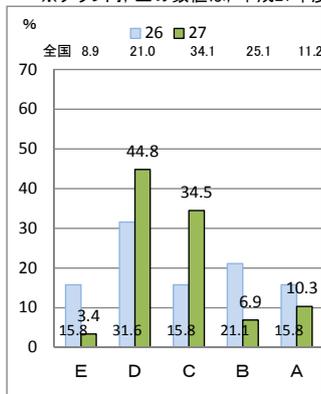
東串良町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

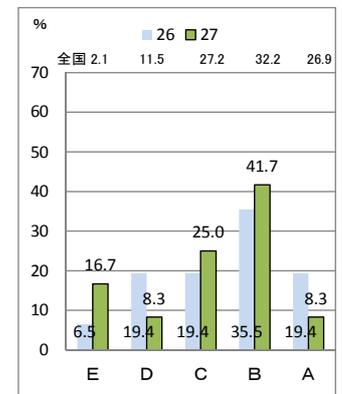
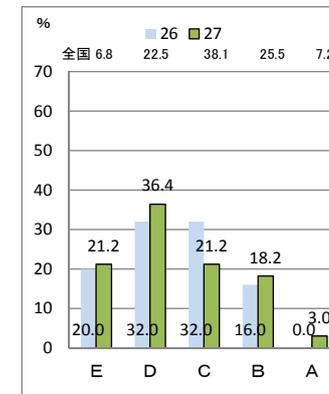
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。前年度と比較すると、男女ともにEの割合が減少しているが、男子のD、女子のEの割合が依然として全国平均より高い。

〈現状及び課題〉

・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。前年度と比較すると、男女ともにBの割合が増加しているが、男子はDとE、女子はEの割合が増加しており課題である。

【小学校 運動実施時間】

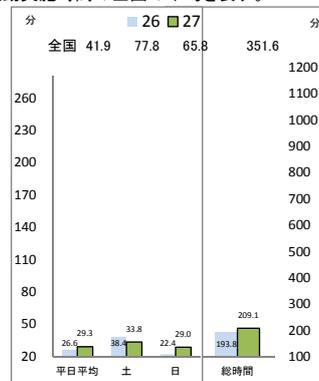
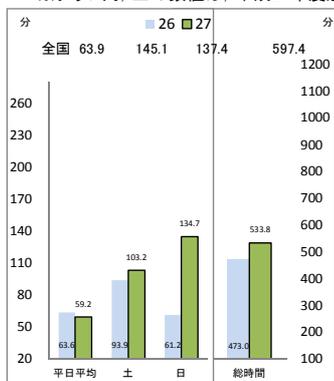
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

・平日の運動実施時間について、男子は全国平均と差はないが、女子は短い。また、土日は全国平均と比較すると短い。1週間の運動時間は、男女ともに全国平均より短い。前年度と比較すると、男子は土日の運動時間が増加しているが、女子は変化が見られなかった。

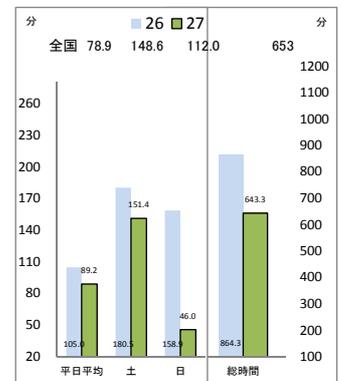
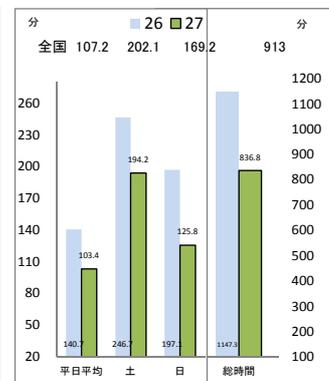
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

・平日及び土日の運動実施時間について、男女ともに全国平均と大きな差はない。1週間の運動時間、男子は全国平均を下回っているが、女子は上回っている。前年度と比較すると、男女ともに運動時間が減少している。

【改善策】

【小学校】

- ・業間体育や教科体育、一校一運動(なわとび・かけ足等)の推進による児童の運動実施時間の確保
- ・児童の体力向上を促進する町体育主任研修会(年5回開催)や体育科実技指導法研修会の開催

【中学校】

- ・教科体育等における運動量の確保(授業前のランニング、一単位時間における補強運動の実施等)

【共通、その他】

- ・県体力向上プログラム、体力ナビ等を活用した研修会の実施及び改善に向けた取組の継続的な実施

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

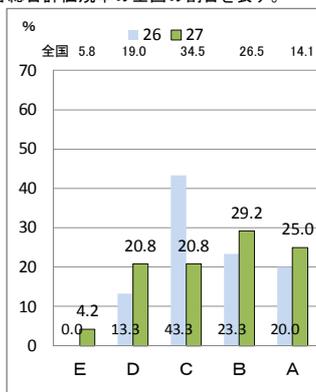
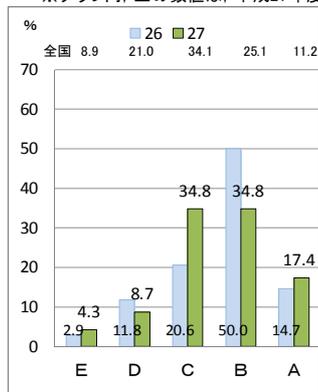
錦江町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

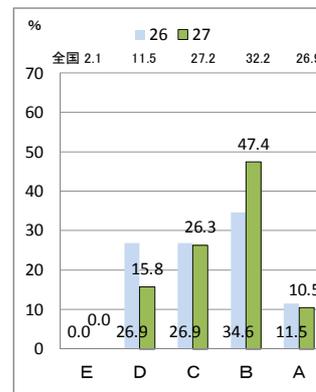
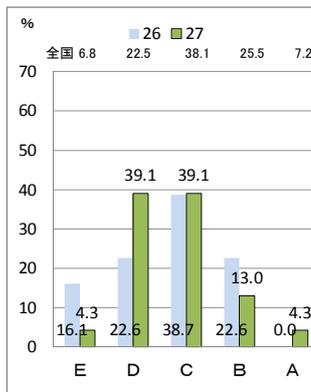
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女ともにA+Bの割合が全国平均より高いことや、男子のD+Eの割合が全国平均より低いことから、全体的には力をつけている状況にあるといえる。
- ・前年度と比較すると、男子のAや女子のA・Bの増加等、成果も現れているが、男子のBの減少や女子のD+Eの増加等の課題がみられる。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、女子はA+Bの割合が全国と同様の状況にある。
- ・全国と比較して、男子はA+Bの割合が低く、Dの割合が高い傾向にあり、生徒への体力及び運動への興味・関心を高めた継続的な取組が必要である。
- ・前年度と比較すると、女子はBの増加やDの減少等で取組の成果が現れているが、男子のBの減少やDの増加等の課題がみられる。

【小学校 運動実施時間】

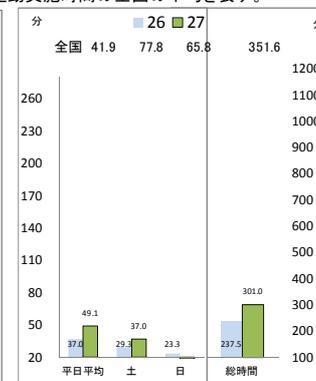
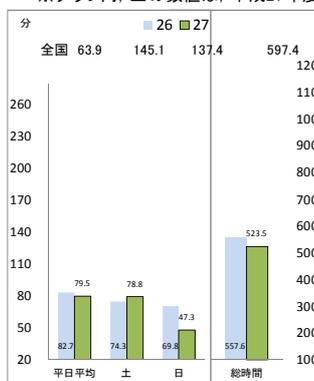
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



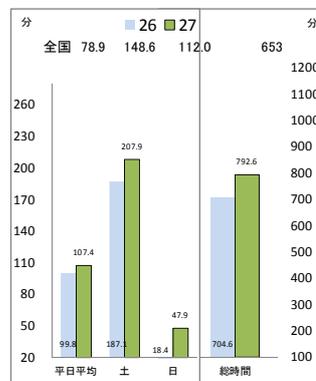
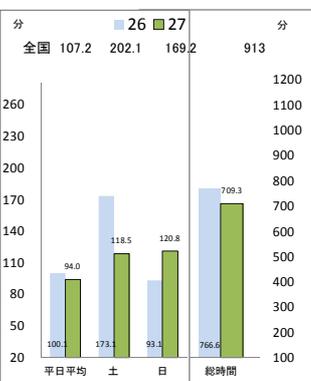
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男女ともに平日の運動時間はほとんど差がないが、土・日曜日の時間が短くなっている。
- ・前年度と比較すると、女子は運動時間が増加しているが、男子の日曜日の運動時間が減少しており課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、平日の運動時間は、男子は全国平均とほとんど差がなく、女子はわずかに長い、男女ともに日曜日の時間が短くなっている。
- ・前年度と比較すると、男子では土曜日、女子では前年度と同様に日曜日の過ごし方が課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・「なかよし体育」等の設定による児童の運動実施時間の確保

【中学校】

- ・教科体育の充実及び運動部・文化部活動の運営・指導の工夫改善

【共通、その他】

- ・「運動は楽しい」と感じる授業づくりや年間を通して継続的に行う一校一運動の設定
- ・休日における運動やスポーツの推進に関する広報誌等を活用した啓発
- ・家庭や地域と連携した活動の推進

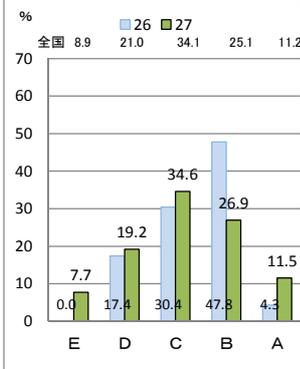
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

南大隅町 教育委員会

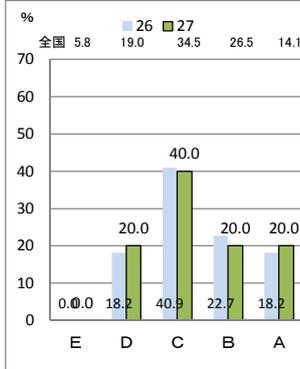
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

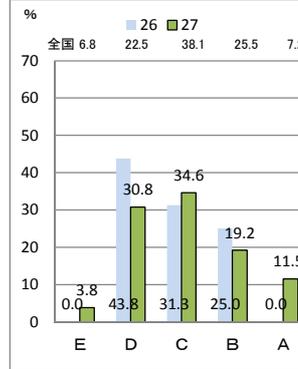


〔女子〕

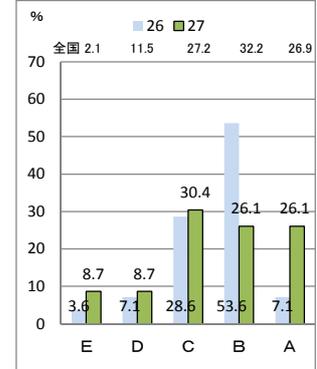


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、全国と比較してA+Bの割合が高く成果が出ている。しかし、Eの割合が昨年度より増加しているため具体的な運動への取組をさせる必要がある。
- ・ 女子は、昨年度とほぼ同様の傾向にある。Aの割合が全国より5.9ポイント高い。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、昨年度よりAの生徒の割合が増加しているが、C+Dの生徒の割合も高い。全体的な引き上げが課題である。
- ・ 女子は、Aの生徒が昨年度より増加している。反面、Eの生徒への運動への取り組みせ方と啓発が課題である。

【小学校 運動実施時間】

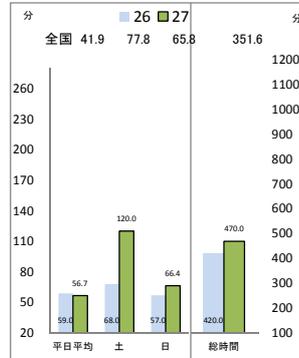
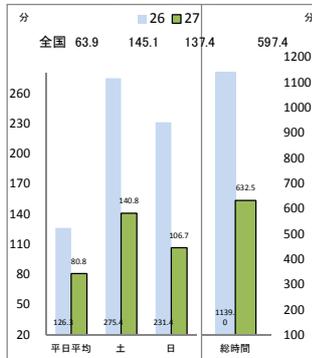
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



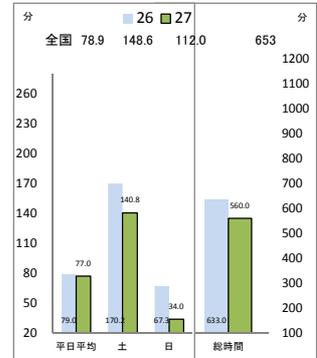
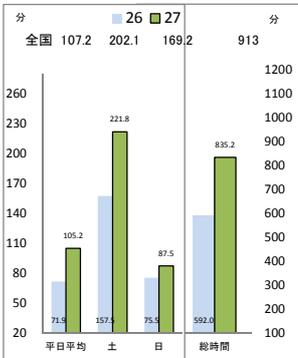
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、平日の運動時間については全国平均を上回っているが土日の運動時間は下回っている。
- ・ 女子は、平日、土曜日、日曜日のいずれも運動時間が全国平均を上回っている。
- ・ 男子は昨年度より運動時間が減少している。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子の運動時間はおおむね全国平均と同様であるが、日曜日の運動時間が少ない。
- ・ 女子の運動時間はおおむね全国平均と同様であるが、日曜日の運動時間がかなり少ない傾向にある。
- ・ 男子は昨年度より運動時間が増えてきている。

【改善策】

【小学校】

- ・ 教科体育の充実や一人一運動の推進を継続し、「体力アップ！チャレンジかごしま」の効果的な活用を行っていく。

【中学校】

- ・ 「たくましいかごしまっ子」育成推進事業の推進を通して、すべての生徒に望ましい運動習慣を身に付けさせていく。(地域人材の活用、運動教実の実施等)

【共通】

- ・ PTAや家庭教育学級での意識啓発をしていく。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

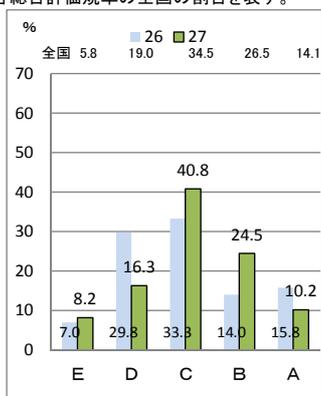
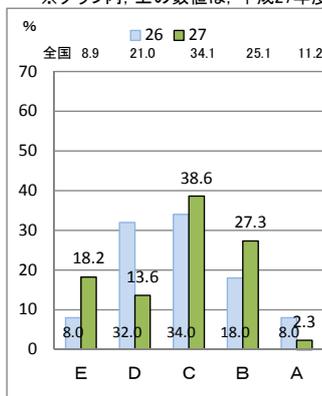
旺付町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

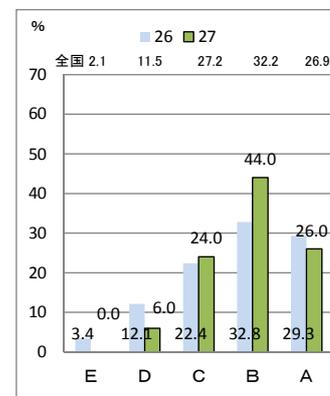
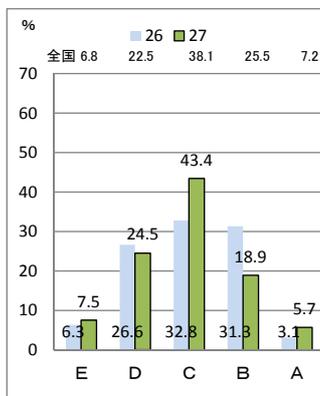
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して、男女ともAの割合が低く、C+Eの割合が高い。
- ・前年度と比較すると、男子はDの割合は減少しているが、E、Cの割合が増加しており課題である。
- ・女子は、Dの割合は減少しているが、E、Cの割合が増加しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると、男子はA+Bの割合が低く、D+Eの割合が高い。女子はA+Bの割合は高く、D+Eの割合は低い。
- ・前年度と比較すると、男子はAの割合が増加し、B、Dの割合が減少しているが、C、Eの割合が増加しており課題である。
- ・女子は、D、Eの割合が減少しているが、Aの割合が減少し、B、Cの割合が増加しているのが課題である。

【小学校 運動実施時間】

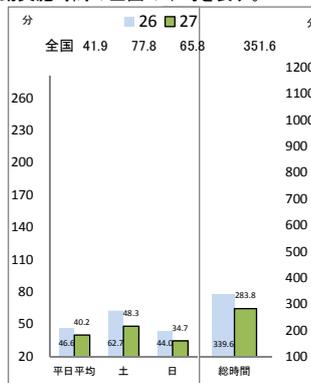
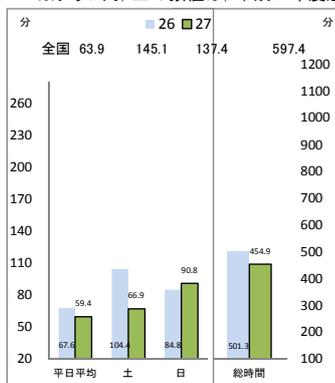
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



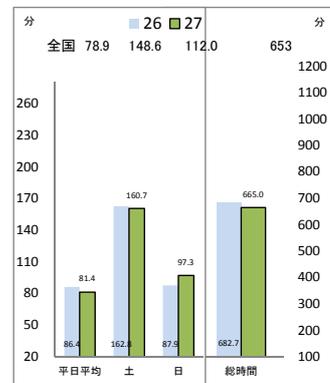
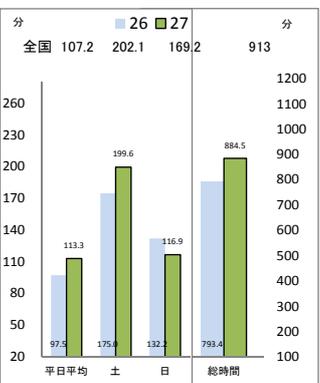
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、平日、土日、1週間と男女とも短く、課題である。
- ・前年度と比較すると、男子の日曜日の運動時間は増加しているが、平日、土曜日、1週間は減少している。女子は、平日、土日、1週間ともに減少しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・全国と比較した運動実施時間は、男子は平日は長い、他は短い。女子は日曜日は長い、他は短い。
- ・前年度と比較すると男子は、日曜日以外は運動時間が増加している。女子は日曜日以外は減少しており、課題である。

【改善策】

【小学校】

- ・体育授業におけるチャレンジタイム(体力向上を目指した5分間運動)の推進

【中学校】

- ・保健体育授業におけるオリジナルウォーミングアップ(個人・学校の課題解決運動)の推進

【共通, その他】

- ・一校一運動の推進及び朝や休み時間等を活用した外遊びの推進
- ・休日における運動やスポーツを促す具体的資料の作成・配布及び広報誌等を活用した広報の充実
- ・ニュースポーツの普及活動、地域人材を活用した運動教室の開催

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

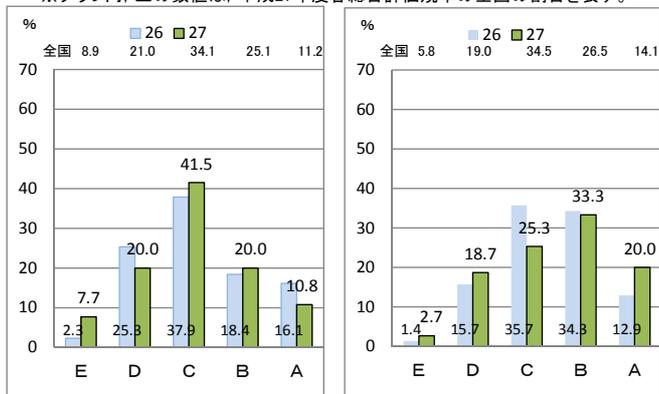
西之表市 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

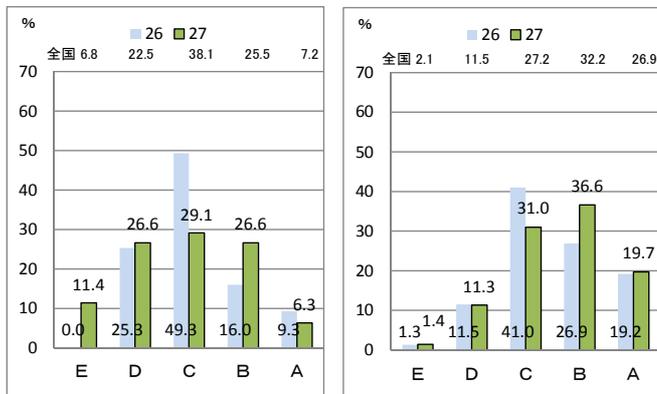
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男子は、(A+B)の割合が全国平均より低くなっており、「C」から上位層への引き上げ、「D、E」の底上げが必要である。女子は、上位層及び中間層の割合は全国平均より高くなっている。
- ・男子は、(D+E)の割合が27.7%もあることから、体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・前年度と比べてD及びEの割合が増加傾向にある。

〈現状及び課題〉

- ・男女ともに、(A+B)の割合が全国平均を上回っていることから、上位層が多い学年であることが分かる。
- ・男子は、(D+E)の割合が38.0%もあることから、体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。特にEの段階の生徒の体力向上への取組を急がねばならない。
- ・前年度と比べてD及びEの割合が増加傾向にある。

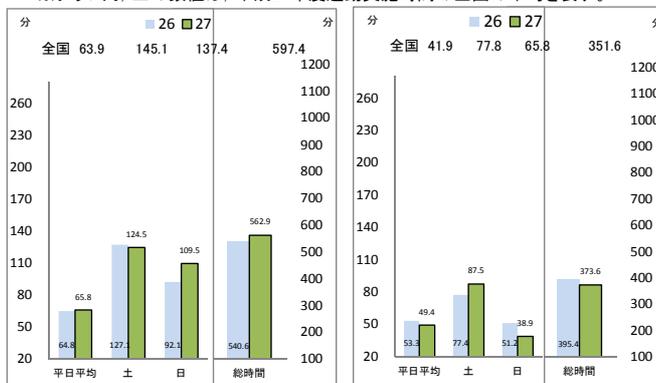
【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



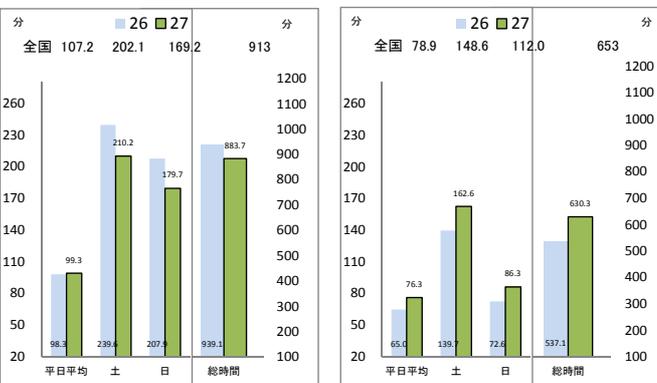
※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男子は全国平均とほとんど差がなく、女子は全国平均よりも長くなっている。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間については、男子は全国平均より短く、女子は土曜日は10分程度長い、日曜日は30分程度短い。土・日曜日の生活スタイルの見直しが望まれる。
- ・1週間の総運動実施時間については、男子は全国平均より30分程度短く、女子は全国平均より長くなっている。運動量については、個人差はあるが生徒の観点からも運動に親しむ児童の育成が望まれる。
- ・平日の運動時間は、全国平均を上回るが、休日は下回っていることが分かった。

〈現状及び課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男女ともに全国平均よりも短くなっている。また、土・日曜日の運動実施時間については、男子は全国平均より長く、女子は全国平均より短くなっている。平日、休日の生活スタイルを見直し、生涯学習の観点からも運動に親しむ生徒の育成が望まれる。また、運動と健康の両面からも家庭と連携した取組が望まれる。
- ・1週間の総運動実施時間については、男子女子ともに全国平均より20分から30分短くなっているが、女子は、前年度に比べて、90分程度長くなっている。

【改善策】

【小学校】

- ・「1校1運動」、「体力づくりカード」の実践による児童の運動実施時間の確保。

【中学校】

- ・体力・運動能力テストの結果をふまえた個人ごとの目標設定と取組への声かけ、見取り、教科体育における運動時間の確保。

【共通、その他】

- ・PTAや家庭教育学級での幼少期における運動経験に関する研修の開催。
- ・地域スポーツ大会等への積極的な参加。
- ・スポーツ行事や運動関連の情報をさまざまな機会を通じた広報・啓発及び意識向上。
- ・運動の日常化を図り、特に休日の運動や外遊びの時間をとるための家庭への呼びかけ。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

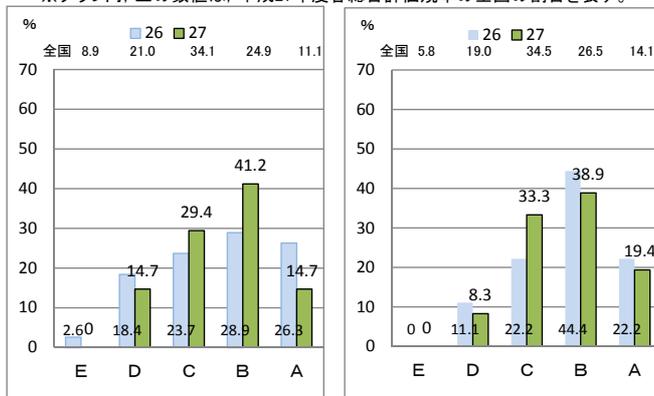
中種子町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

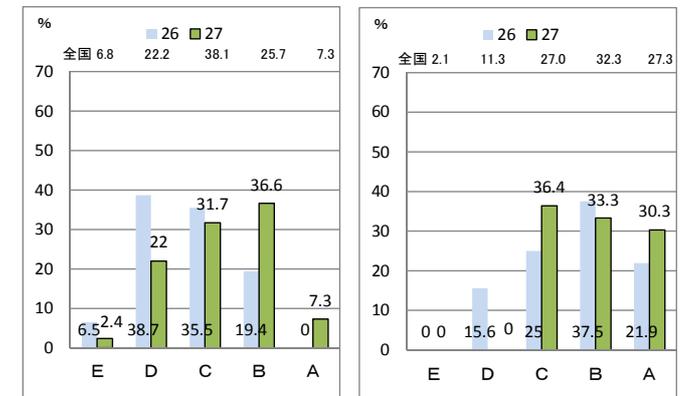
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点~64点 C: 50点~57点 D: 42点~49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点~56点 C: 37点~46点 D: 27点~36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

- ・男女ともにA+Bの割合が全国平均よりかなり高くなっている。(全国比男子+19.9, 女子+17.7)
- ・体力合計点平均値は男子で4ポイント、女子で3ポイントあまり高い。
- ・D+Eの割合は男子が女子より6%あまり多い。
- ・種目別では男子は「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」、女子は「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回っている。

〈現状及び課題〉

- ・男子はA+Bの割合が全国平均よりかなり高くなっている。(全国比+10.9) 女子のA+Bの割合は全国平均並みである。(全国比+4.0)
- ・総合体力点平均値は男女とも全国平均並みである。(男子+3ポイント, 女子+2ポイント)
- ・総合評価がD, Eの女子はいない。男子はD, Eの者が24.4%もいる。
- ・種目別では男女とも「上体起こし」「持久走」「立ち幅跳び」が全国平均を上回っている。また、男女とも「長座体前屈」が全国平均を下回っている。

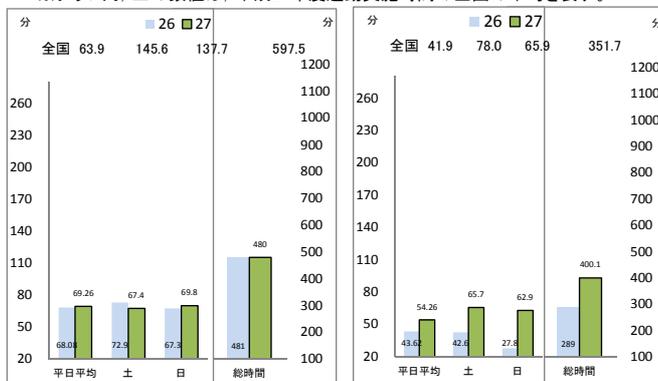
【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



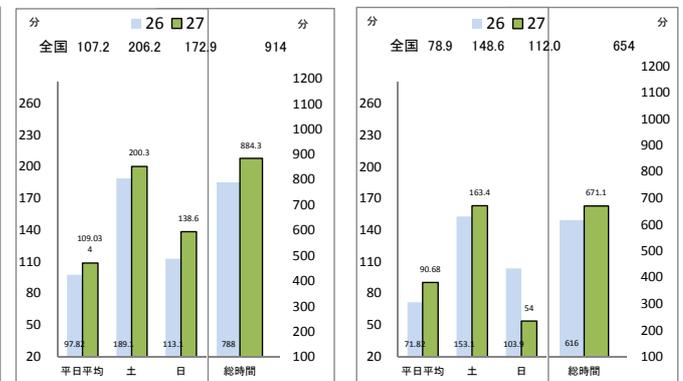
※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・男子の平日、女子の1週間の平均運動実施時間は全国平均とほとんど差がないが、男子の土日の平均運動時間が全国平均より短い。
- ・平日の運動実施時間に男女差がある。また男女とも曜日により運動実施時間に差がある。これは少年団活動加入の男女比、及び少年団の練習曜日に起因するものと思われる。
- ・平成26年度と比較すると、女子の運動実施時間が長くなった。

〈現状及び課題〉

- ・男子の平日、土曜日の平均運動時間は全国平均とほとんど差がないが、日曜日は全国平均より短い。女子は平日、土曜日の平均運動時間が全国平均より長い、日曜日は全国平均より短い。
- ・平日の日曜による運動実施時間の差は男女ともほとんどない。
- ・1週間の運動実施時間は男子が女子よりかなり長く、全国と同様の傾向がある。文化系部活動へ所属する生徒の男女比に起因するものと思われる。

【改善策】

【小学校】

- ・体育の授業を充実し、運動することの楽しさや喜びを味わわせることを通して、自ら進んで運動に取り組もうとする児童を育成する。
- ・「一校一運動」のさらなる推進、及び小・中学校とも「体力アップ! チャレンジかごしま」への積極的な参加を進める。

【中学校】

- ・運動部活動の適切な運営・指導に關しての教職員の指導力の向上を図る。

【共通、その他】

- ・「太陽の里中央運動公園」各施設を核としたスポーツイベントの開催の促進、周知を図る。
- ・「中種子よいらーいきスポーツクラブ」の活動の推進による、スポーツの受け皿の確保を図る。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

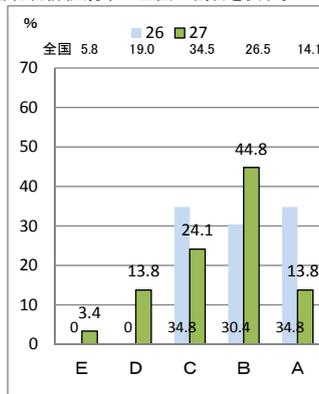
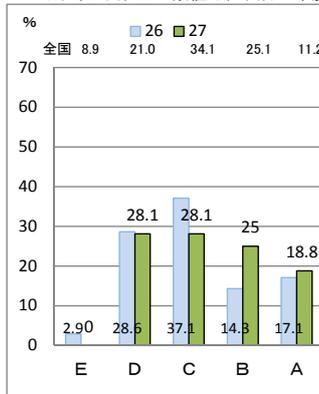
南種子町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

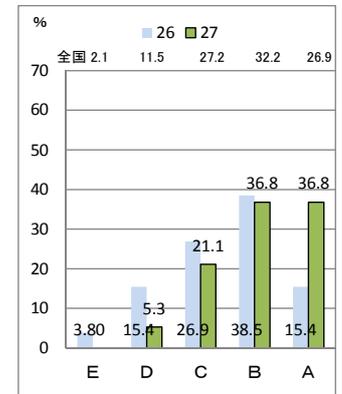
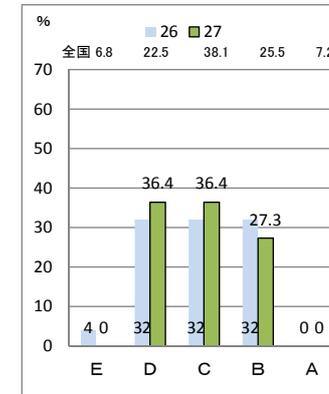
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、A+B上位層の割合が全国平均よりも高い。D+Eの割合は、全国平均とほぼ同じレベルである。種目については上体起こしとシャトルランに課題がある。
- ・ 女子は、A+B上位層の割合が高い。D+Eの割合が全国平均よりも高く、二極化傾向にある。種目については、上体起こしに課題がある。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、A+Bの上位層の割合が全国平均よりも若干低い。D+Eの割合については、全国平均よりも高くなっており、底上げが必要である。種目については上体起こしと立ち幅跳びに課題がある。
- ・ 女子は、A+Bの上位層の割合が全国平均よりもかなり高い。種目についてはシャトルランに課題がある。

【小学校 運動実施時間】

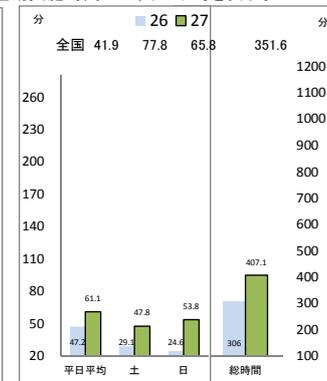
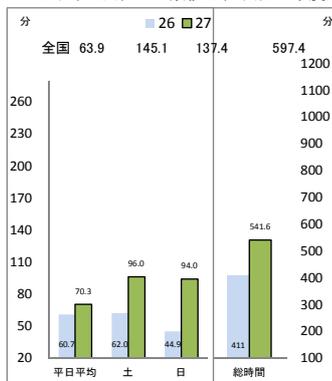
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



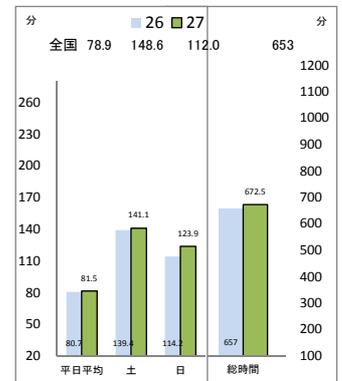
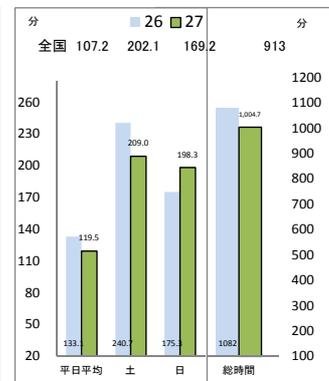
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、平日の運動実施時間については全国と比較すると上回っているが、土曜日・日曜日に関しては、全国より下回っている。1週間の総運動実施時間も全国と比較すると下回っているが、前年度と比較すると改善傾向にある。
- ・ 女子は、平日の運動実施時間は、全国を上回っているが、土曜日・日曜日については、全国より下回っている。1週間の総運動実施時間においては、全国より上回り、改善してきている。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、平日の運動実施時間、土曜日・日曜日、1週間の総運動実施時間において全国と比較すると上回っている。前年度と同様に運動実施時間が確保されている。
- ・ 女子は、平日の運動実施時間、土曜日・日曜日、1週間の総運動実施時間において全国と比較すると上回っている。前年度と同様に運動実施時間が確保されている。

【改善策】

【小学校】

- ・ 1単位時において、しっかり汗をかき運動量の確保と体力・運動能力調査の結果を意識した補強運動等の実施
(□男子:上体起こし, シャトルラン □女子:上体起こし)
- ・ 「チャレンジがごしま」などに継続して取り組み, 体を動かす楽しさを実感できる場の工夫

【中学校】

- ・ 部活動等における体力・運動能力の向上に向けた目標と改善策の設定
(□男子:上体起こし, 立ち幅跳び □女子:シャトルラン)

【共通・一般】

- ・ 地域のスポーツイベントやスポーツ施設等の利用について広報誌やホームページ等を活用した情報提供
- ・ 総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ宙太くん」との連携

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

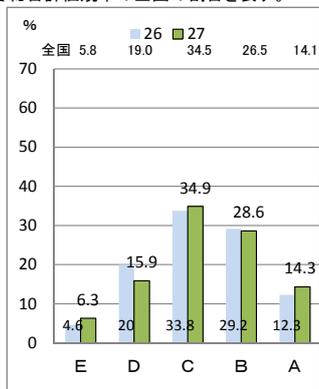
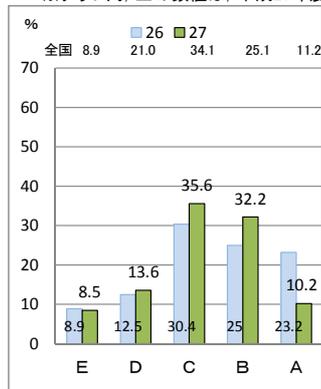
屋久島町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

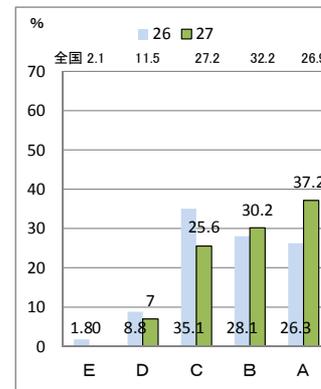
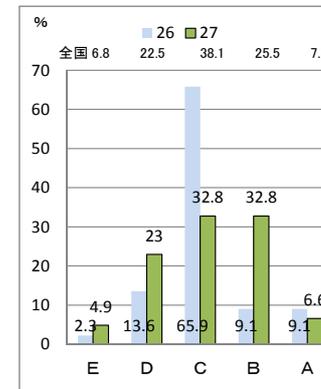
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比べAの割合が減ったが、A+Bの割合が全国平均より高い。種目別には、長座体前屈とソフトボール投げが全国平均を上回るが、20mシャトルランが若干下回っている。全身持久力を高める取組の工夫が必要である。
・女子は、ほぼ全国平均並みの分布となっている。種目別には、立ち幅跳びとソフトボール投げが全国平均を上回っている。

〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比べCの割合が減ったが、A+Bの割合が全国平均より高い。種目別には、反復横とびと20mシャトルランが全国平均を上回るが、長座体前屈は下回っている。
・女子は、D+Eの割合が非常に少なく、A+Bの割合が多く、体力のある集団と言える。種目別には、握力と反復横とび、ハンドボール投げが全国平均を上回るが、長座体前屈は下回っている。

【小学校 運動実施時間】

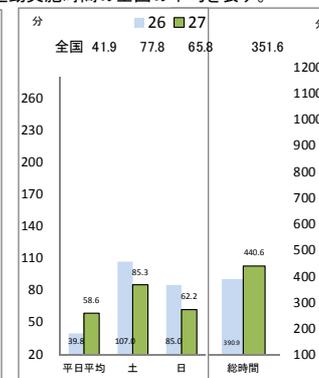
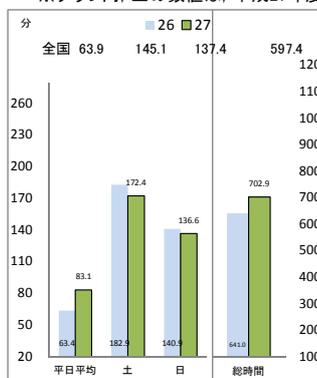
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



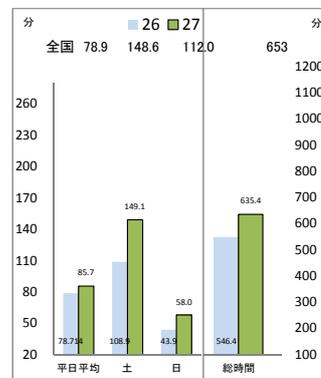
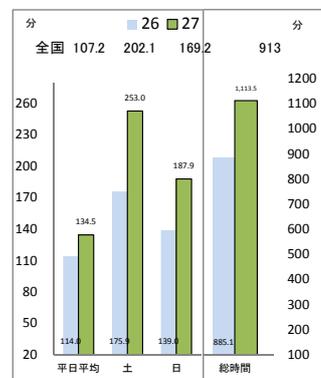
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比べ休日の運動実施時間が減少したものの、平日が増え、総運動実施時間は大きく増えている。
・女子は、男子と比べ運動実施時間が非常に少ない。しかし、前年度と比べると、休日の運動実施時間が減少したものの、平日が増え、総運動実施時間は増えており、全国平均より高い。

〈現状及び課題〉

・男子は、前年度と比べ平日・休日ともに運動実施時間が増えており、全国平均より高い。
・女子は、小学生と同様に男子と比べると運動実施時間が少ない。前年度と比べると平日・休日ともに運動実施時間が増えたものの、全国平均を若干下回っている。

【改善策】

【小学校】

- ・教科体育におけるウォーミングアップ時に、持久走の時間の確保
- ・教科体育以外の時間での駆け足運動等の取組の推進

【中学校】

- ・文化系部活動所属者と部活動未所属者の運動習慣・時間確保のための取組の強化

【共通、その他】

- ・幼少期から運動習慣を付けるためのコミュニティスポーツクラブにおけるキッズクラブの活動継続、及び広報活動
- ・業間体育や朝の活動、放課後等の運動習慣定着のための取組の充実
- ・家庭教育学級などにおける親子による運動習慣定着のための取組の強化

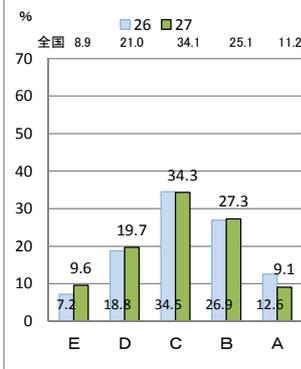
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

奄美市 教育委員会

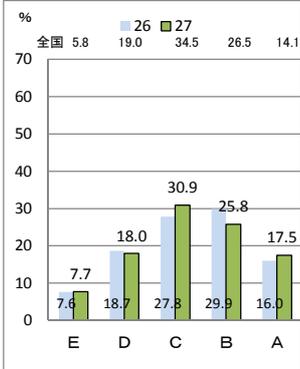
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

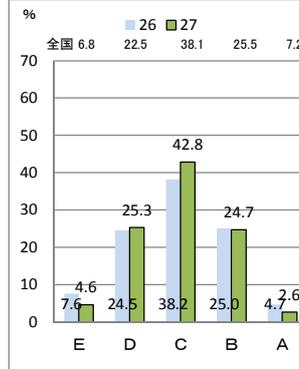


〔女子〕

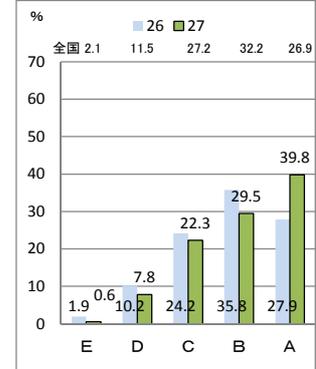


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

〈現状及び課題〉

現状

- ・ 男子は、昨年度と比較して、DEの割合が高くなり、反対にA判定の割合が低くなっている。
- ・ 女子は昨年度と比較して、同じような分布になっている。

課題

- ・ 男女ともに上体おこし、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びが全国平均を下回っており、総合的に体力の向上に取り組む必要がある。

〈現状及び課題〉

現状

- ・ 男子は、昨年度と比較してAEが低く、Cが42.8%であり平均層が増えている。
- ・ 女子は昨年度と比較してAが多く、DEが少なくなっており、全体的な体力の向上がみられる。

課題

- ・ 女子は、全体的に体力レベルが高い。しかしながら、男女共に50m走が全国平均を下回っている。また男子は、上体起こし、立ち幅跳びが全国平均を下回っており、総合的に体力の向上に取り組む必要がある。

【小学校 運動実施時間】

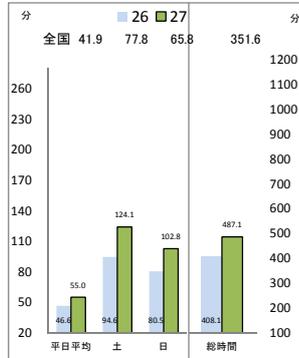
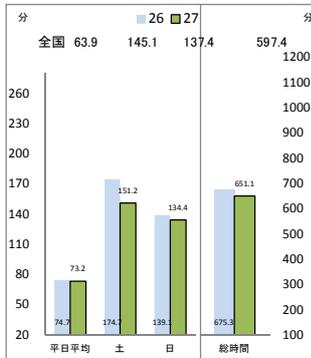
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



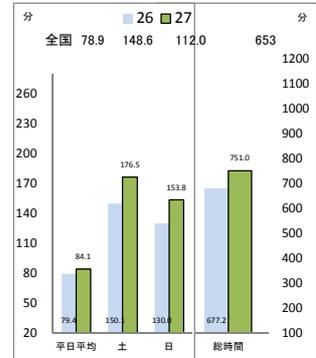
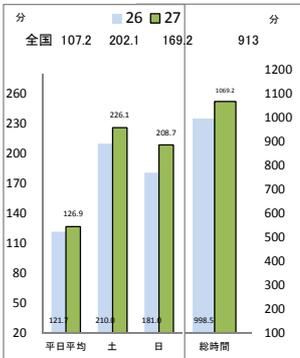
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

現状

- ・ 男子の運動実施時間は、昨年度とほぼ同じであった。女子は、昨年度より、平日、休日ともに運動実施時間の増加がみられた。
- ・ 男女共に全国平均よりも運動実施時間は長い。

課題

- ・ スポーツ少年団、クラブに所属していない児童の運動時間の確保が必要である。

〈現状及び課題〉

現状

- ・ 男女共に全国平均よりも運動実施時間は長く、昨年度よりも増加している。

課題

- ・ 部活動やスポーツクラブに所属していない生徒の運動時間の確保が必要である。

【改善策】

【共通】

- ・ 本市の実態を把握するために、小学4年生から中学3年生の全ての児童生徒を対象に体力・運動能力運動習慣等調査を実施している。
- ・ 体力向上推進会議(6月・2月)・夏季体育指導研修会を実施し、指導力向上に向けた取組を推進している。
- ・ 幼児期の運動体験や運動遊びの向上のために、「あまみっ子運動遊び・体育教室」指導員派遣事業で希望のあった幼・保・小・中学校に運動指導員を派遣している。
- ・ 運動体験の少ない児童生徒の運動習慣の確立のため、地域総合型スポーツクラブASAと連携し、ASAの企画する運動プログラムを紹介している。
- ・ 学校における一校一運動について、個に応じたプログラムの改善を図ることができるように体力ナビを活用した取組を推進する。
- ・ 運動遊びを積極的に実施している学校の取組を体育主任会や体力向上推進委員会で紹介し、児童会、生徒会と連携して取り組める態勢を推進する。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

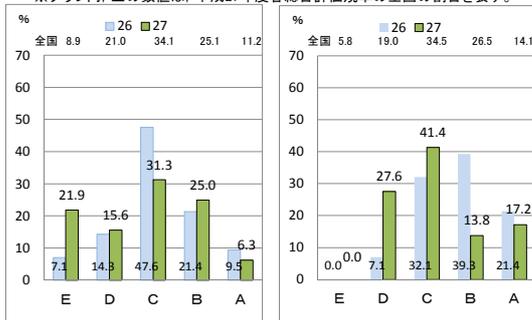
瀬戸内町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

【男子】

【女子】

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

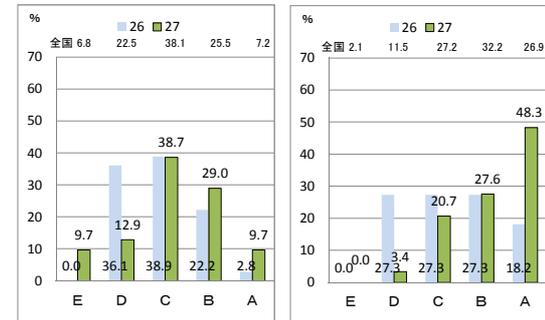
〈現状及び課題〉

- 男子は全国平均と比較しても、また前年度との比較でも、E+Dの割合が増加しており、中位～上位層の基礎的、基本的な体力の向上が課題である。
- 女子についても、全国平均と比較しても、また前年度との比較でも、A+Bの中位～上位層の割合が減少している。また、Dの割合が昨年度と比較して著しく増加しており、全体的な体力向上が課題である。
- 小学校の発達段階においてはバランスのよい総合的な体力が重要であると考えられることから、それぞれの階層の子供たちが楽しみながら実施できる着実な体力向上への取組が必要である。

【中学校 体力総合評価】

【男子】

【女子】



※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- 男女ともに、全国平均と比較しても、また前年度との比較でも、A+Bの上位層の割合が増加しており、体力の著しい向上が見られる。特に女子では、A+Bの上位層の割合が全体の3/4を占めており、基礎的、基本的な体力は十分であると思われる。前年度と比較すると、特にAの割合の伸びが著しい。
- 男子では前年度、Eの生徒が皆無であったが、今年度は全体の約1割の生徒が出現した。体力の上位層と下位層の二極化現象を生まないよう、下位層の生徒への基礎的、基本的な体力向上の取組を充実させ、体力向上を図っていききたい。

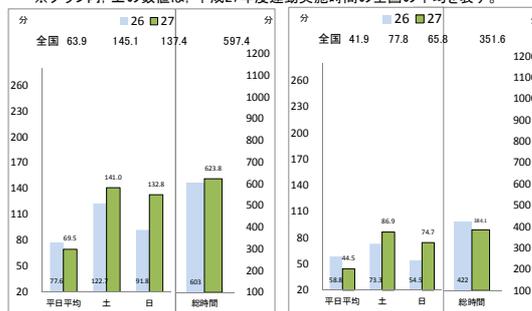
【小学校 運動実施時間】

【男子】

【女子】

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

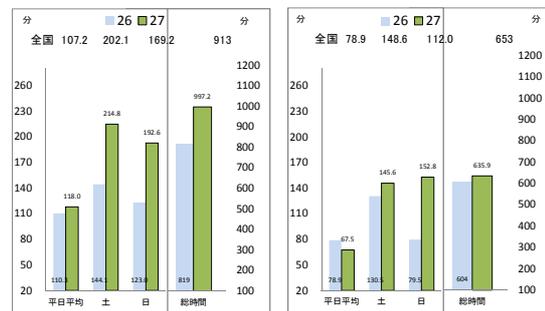
- 男子は、平日、土日や総運動実施時間すべての領域で全国平均並みか上回っている。しかし、前年度と比較すると、平日の運動実施時間が減少しており、平日の運動時間を増加させることが課題である。平日も継続的に運動に親しむ習慣付けを図る必要がある。
- 女子は平日、土日や総運動実施時間すべての領域で全国平均より多くなっている。しかしながら男子同様、前年度と比較すると平日の運動実施時間が減少しており、平日の運動時間を増加させることが課題である。平日も継続的に運動に親しむ習慣付けを図る必要がある。

【中学校 運動実施時間】

【男子】

【女子】

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- 男子は、土日や総運動実施時間すべての領域で全国平均より多くなっている。前年度と比較しても、全ての領域で運動実施時間が増加している。体力総合評価の結果を勘案すると、運動実施に大変積極的な生徒がいる反面、運動をほとんどしない生徒もいるという二極化現象も考えられる。個に応じた指導も考慮していききたい。
- 女子は、日曜日以外、運動実施時間について全国平均と比べて短い。また、前年度と比較して平日の運動実施時間が減少しており、平日の運動時間を増加させることが課題である。特に、運動部活動に所属していない生徒へ毎日継続的に運動に親しむ習慣付けを図る必要がある。

【改善策】

【小学校】

- 楽しみながら体力つくりのできる「チャレンジかごしま」の積極的推進(運動への興味・関心、総合的体力つくり、運動実施時間の拡充等)
- 社会教育課との連携による幼少時における体力つくり教室「プレ・ゴールデンエイジ事業」の推進及び充実

【中学校】

- 一校一運動や体力つくりタイム等の積極的推進(運動部活動所属以外生徒の運動への興味・関心、総合的体力つくり、運動実施時間の拡充等)

【共通、その他】

- 体力向上の重要性や、休日における運動やスポーツの重要性等の積極的啓発(町報、教委便り、ホームページ等による広報・啓発等)
- 体育に関する研修会、体育の校内研修における指導等の積極的推進(教科体育の充実、補強運動による重点的体力つくり、運動時間確保等)
- PTAを巻き込んだ「休日や家庭におけるスポーツ・運動」活動の積極的推進(各校PTA活動重点項目に設定、町P連活動重点項目に設定等)
- 社会教育課との連携による小中学生対象のスポーツ・運動的行事の積極的推進

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

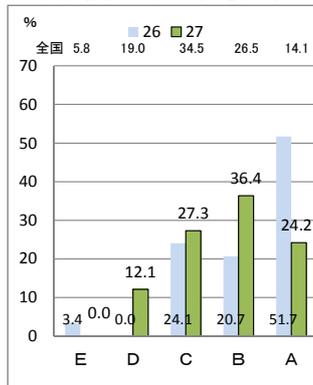
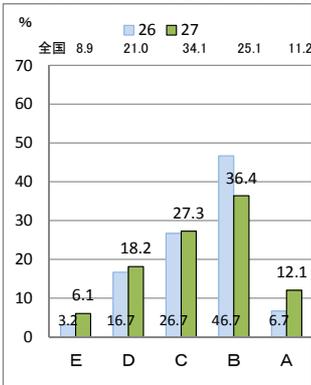
龍郷町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

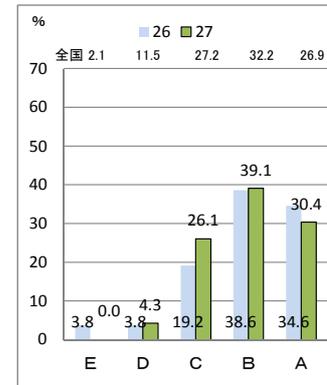
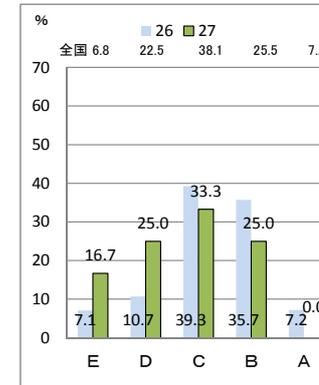
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男女ともに、A+Bの割合は全国平均を上回っているが、女子は女子は上位層の割合が前年度より減少している。中位層の底上げが必要である。
- ・ 男女ともに、「D、E」の割合は低いものの、今後も引き続き体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、女子はA+Bの割合が高く、D+Eの割合が低い。それに対し、男子は、A+Bの割合が低く、D+Eの割合が高い。特にEの割合が高くなっており課題である。
- ・ 男子は、E、Dの生徒の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

【小学校 運動実施時間】

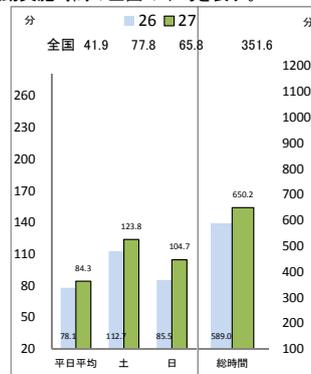
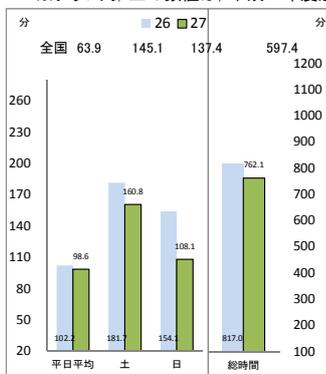
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 小学校男女ともに、全国平均よりそれぞれ1日平均30分程度長くなっており、運動の習慣が定着しつつあるが、二極化が見られることを十分に認識しておく必要がある。
- ・ 前年度と比較すると、男子が全ての項目で減少している。日曜日に関しては、全国よりわずかに短い。

【中学校 運動実施時間】

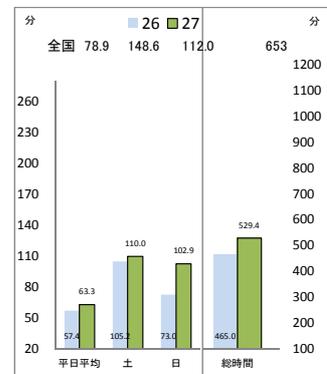
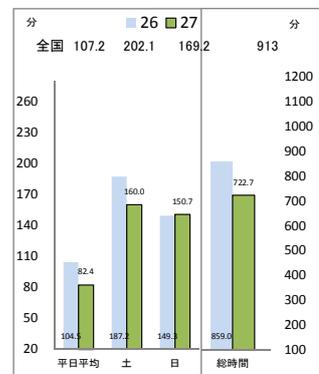
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、男女ともに、全ての曜日で短い(わずかに短い)。
- ・ 前年度と比較すると、女子は増加し、男子が減少している。
- ・ 小学校、中学校それぞれの段階で二極化が見られることを認識しつつ、小学校から中学校への段階で、運動時間が大きく減少することが本町の課題である。

【改善策】

【小学校】

【中学校】

【共通、その他】

- ・ 二極化を意識した体育科学習指導の充実及び運動実施時間の確保
- ・ 十分な運動量を保障した授業の充実
- ・ 小中連携(教科体育における円滑な接続)の充実
- ・ 授業における「主運動の基礎となる感覚や類似した動きを経験させるための時間」の意図の設定
- ・ 町主催PTA行事、研修会等での現状説明等も含めた広報の充実
- ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま」の活用(町としての取組)

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

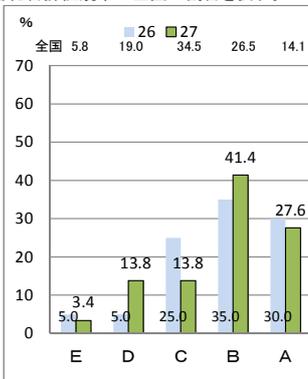
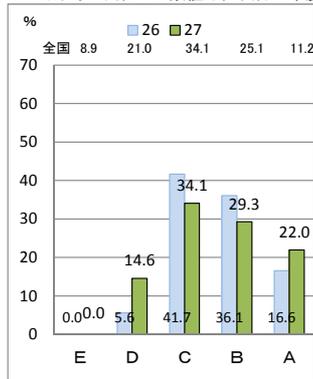
喜界町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

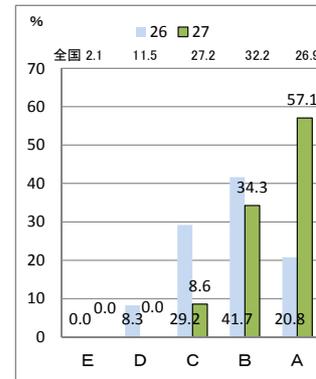
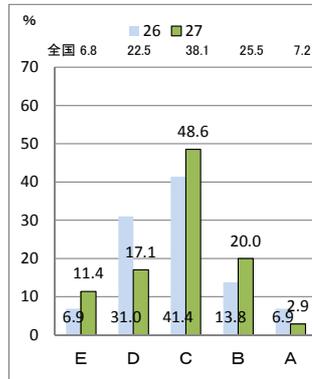
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 小学校男子は昨年度と比較してAの割合が増えたが、B・Cの割合は減り、一方でDの割合も増えている。なお、Eの割合は昨年と同様0となっている。DやCの割合を減らし、AやBの割合を増やしていく必要がある。
- ・ 小学校女子は、昨年度と比較して、特にCの割合が大きく減り、Bの割合が増えた。一方でDの割合が増えた。EやDの割合を減らしていく必要がある。
- ・ 男女共に、運動の得意でない児童に対しても実態に応じた手立てを行うなどして、運動能力の向上が図られるように努めていく必要がある。

〈現状及び課題〉

- ・ 中学校男子は、特にDの割合が減り、CやBの割合が増えた。しかし、Eの割合が増え、一方でAの割合は減っている。
- ・ 中学校女子はAとBの割合で9割を超えている。また、EとDの割合も0である。
- ・ 女子と比較して男子はAやBの割合が少なくなっている。また、男子はAの割合が最も少なく、バラつきがあることから、個の実態に応じて適切な手立てを行っていくことが必要である。女子は、AとBの割合が多いことから、さらに高い目標を設定し、能力を高めていく必要がある。

【小学校 運動実施時間】

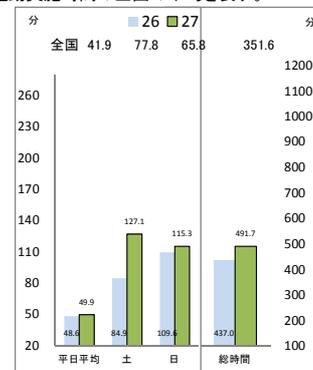
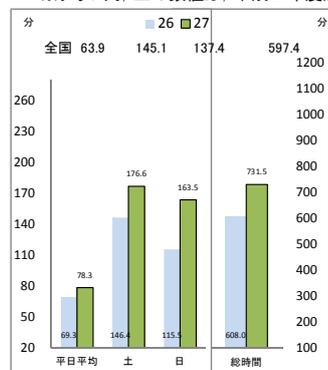
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



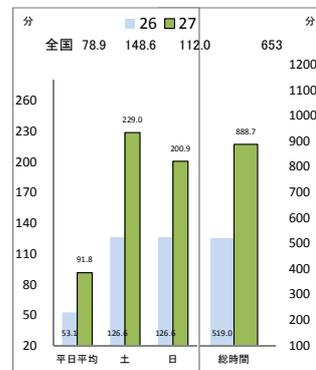
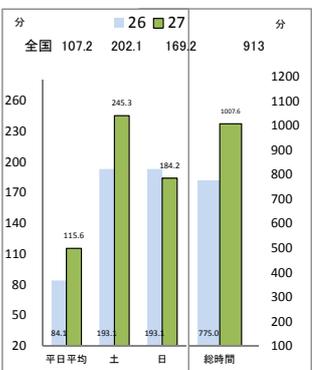
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 小学校においては、男女共に昨年度と比較して平日、土・日曜日すべて運動実施時間が長くなっている。また、男女共に土曜日の運動時間が長い。
- ・ 男女で比較すると男子の方が運動実施時間が長い。
- ・ スポーツ少年団に所属している児童については、1週間の運動時間が保障されるが、所属していない児童においては、短くなりがちである。また、一方で過剰な練習時間にならないよう指導者と連携を図っていく必要がある。

〈現状及び課題〉

- ・ 中学校においては、男子の日曜日の運動時間が少し短くなったが、その他は昨年度と比較して長くなっている。特に、女子の運動時間が昨年度と比較して2倍程度伸びている。男女で比較すると男子の方が長い、日曜日においては、女子の運動時間が男子よりも長くなっている。
- ・ 運動時間が長くなったことで、学習時間の減少につながらないように配慮する必要がある。

【改善策】

- ・ 教職員で調査結果の分析と今後の対策を協議させ、体育の指導において、児童生徒の実態や課題等を踏まえた補強運動に意図的・組織的・継続的に取り組んでいけるようにする。また、学校生活の中で、運動に親しむ機会を設定し、体力の向上に年間を通して取り組めるように働きかけるようにする。なお、体力総合の結果については、個人差があるため、児童生徒の実態に応じた手立てを行うことで、体力の向上が図られるようにする。
- ・ 児童生徒自らが、自分の体力について課題や目標を明確にとらえ、自主的・主体的に体力の向上に向けた取組を推進していけるように働きかける。また、児童生徒の実態について保護者に公表することで、課題を共有し、適切な運動時間を確保できるよう家庭や地域と連携した取組を進めていく。
- ・ 運動時間の増加は好ましいが、スポーツ少年団や部活動など児童生徒にとって過剰なものにならないようにするとともに、学習時間が確保できるよう指導者等と連携を図りながら、適切な活動が行えるように働きかける。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

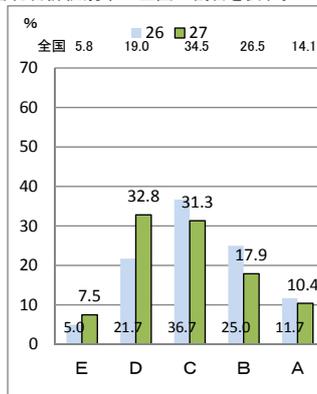
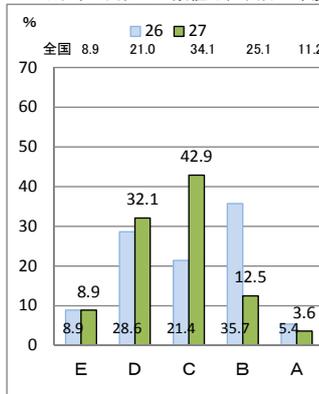
徳之島町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

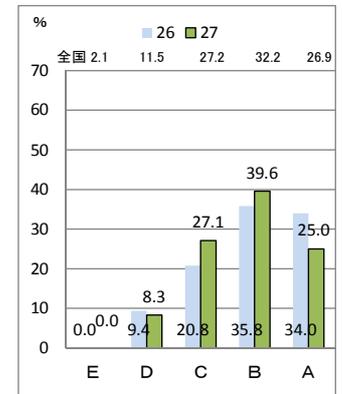
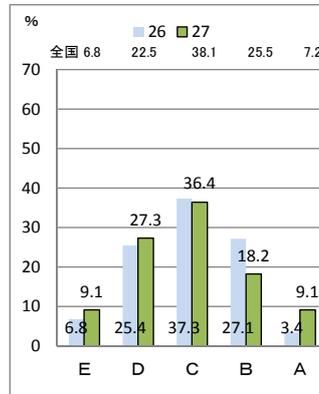
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男子はAの割合が低く、CとDの割合が高い。女子はA+Bの割合が高く、C+D+Eの割合が低い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はAの割合が減少し、C+D+Eの割合が増加していることが課題である。女子は、Aの割合は減少し、C+Dの割合が増加していることが課題である。
- ・ 男女ともに、AやBの割合が少なくなり、CやDの割合が増えているので中位層を引き上げるための授業改善や支援等が課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男子はA+Bの割合が高く、C+D+Eの割合が低い。女子は A, Bの割合が高く、D, Eの割合が低い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はBの割合が減少し、D+Eの割合が増加しており課題である。女子は、Aの割合は減少したものの、B+Cの割合が増加していることは中上位層が増えている。
- ・ 理想的な分布であるが、まだまだ下位層の底上げを図る必要がある。

【小学校 運動実施時間】

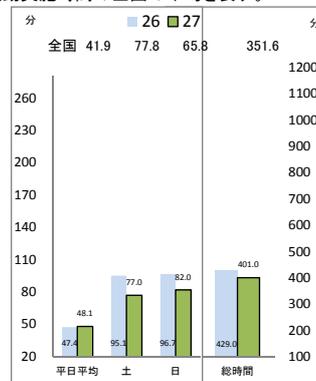
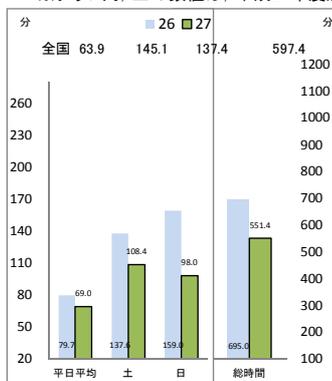
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

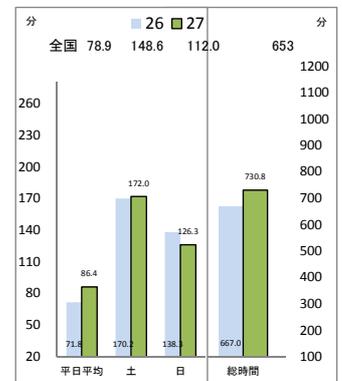
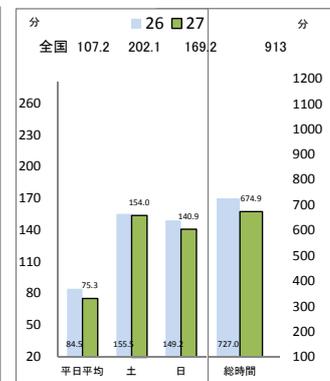
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともに上回っており、男子は土・日、女子は日曜日が短い。また、1週間の運動時間は、男女ともに上回っている。
- ・ 前年度と比較すると男女ともに、土日、1週間ともに減少しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、男子は平日、土、日、総時間ともに下回っている。女子は平日、土、総時間ともに上回っており、日のみ短い。
- ・ 前年度と比較すると男子は、平日、土日、1週間の運動時間が減少しているが、女子は、日のみ短くなった。

【改善策】

【小学校】・「体力アップ!チャレンジかごしま」の積極的な活用

・ 心と体の一体化を目指した教科体育の一層の充実

【中学校】・「体力アップ!チャレンジかごしま」の積極的な活用

【共通・その他】

- ・ 社会教育課との連携を図った少年団及び運動部活動指導者への啓発(土曜授業の趣旨を含めた)
- ・ 町体育部会の充実(授業を通じた研修会の実施)
- ・ 体育・保健体育の授業時や運動部活動時の地域人材の効果的な活用

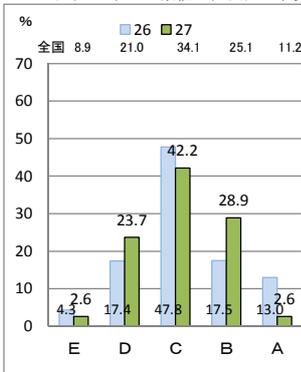
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

天城町 教育委員会

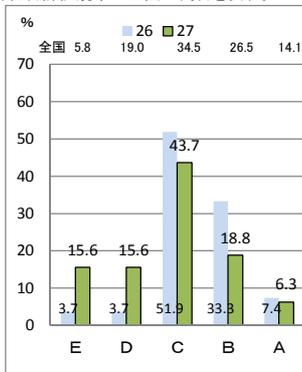
【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。

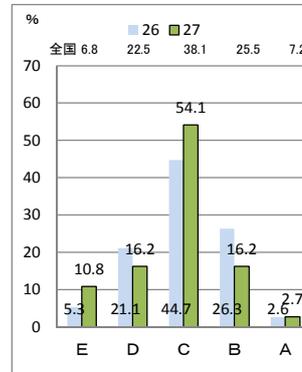


〔女子〕

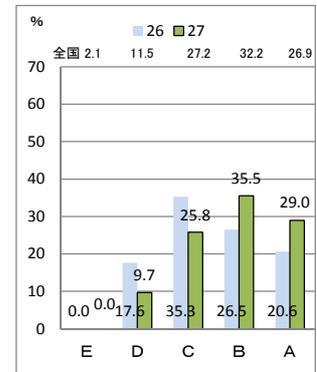


【中学校 体力総合評価】

〔男子〕



〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男子はAの割合が低く、Dの割合が高い。女子は、最下位層のEの割合が高い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はA+B層の割合は同じであるが、A層が減少している。女子は、D+E層の割合が大幅に上昇している。
- ・ 課題としては、男女ともに下位層の児童の引き上げるための授業改善や運動量の確保等が必要である。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、中位層(C層)に集中し、上位層、下位層ともに少ない。
- ・ 全国と比較すると、女子はA+B層の割合が高く、E層がない。
- ・ 前年度と比較すると、男子の傾向は変わらないが、女子は、体力評価の向上がみられる。
- ・ 課題としては、男子において更に上位層への引き上げのための授業改善や運動量の確保等が必要である。

【小学校 運動実施時間】

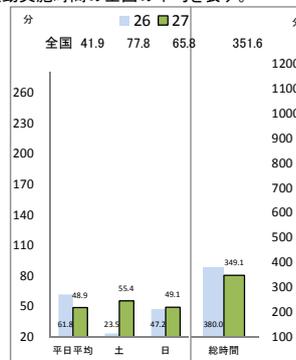
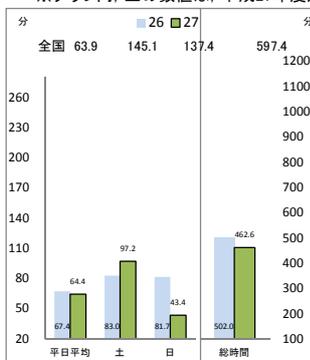
〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



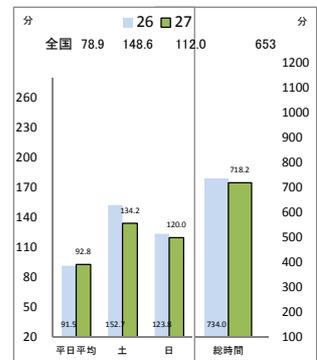
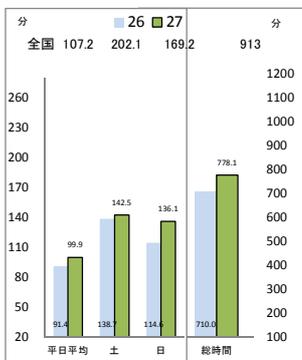
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、総時間において男女ともに平日の運動時間は同じであるが、土日の運動時間がかなり短くなっている。
- ・ 前年度と比較すると、男子は全ての調査項目において運動実施時間が短くなっている。女子は、土日の運動時間は長くなったが、平日の平均時間が短くなかったことから、総時間は短くなっている。
- ・ 男女ともに運動時間の確保が課題である。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、男子は全ての調査項目において短い。女子は、土曜日の実施時間が短い。平日平均と日曜の時間は長い。
- ・ 前年度と比較すると、男子は全ての調査項目で長くなっている。女子は、平日平均は少し長くなったが、総時間は短くなっている。

【改善策】

【小学校】

- ・ 1校1運動の実施や体育の授業等における児童の運動時間の確保
- ・ スポーツ少年団活動における運動時間の確保

【中学校】

- ・ 保健体育の授業や部活動における「かごしまの子ども体力向上プログラム<中・高等学校版>」の積極的な活用
- ・ 運動部活動の加入率の向上と運営の推進

【共通・その他】

- ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま」の積極的な活用
- ・ 体育・保健体育科の研究授業を実施するなど研修の充実
- ・ 運動部活動等における地域人材の積極的な活用

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

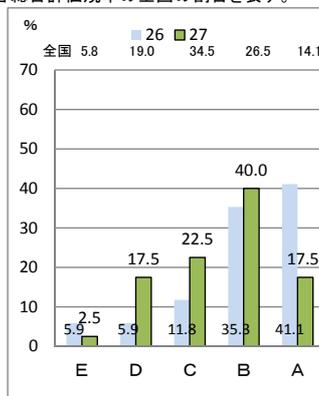
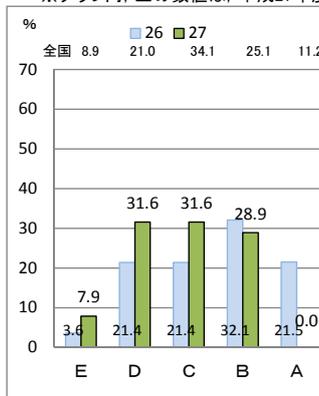
伊仙町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

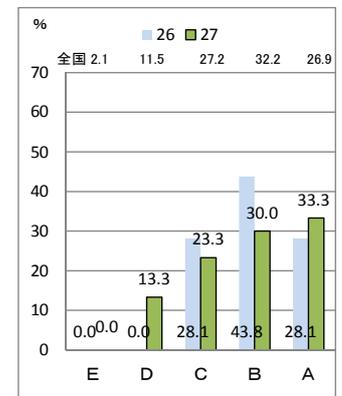
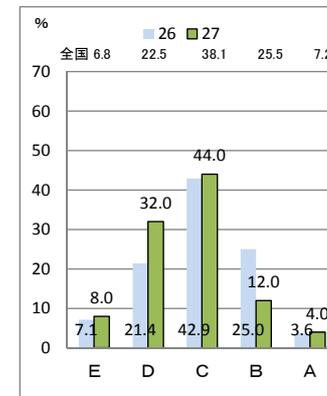
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男子はAの割合が低く、Dの割合が高い。女子はA+Bの割合が高く、C+D+Eの割合が低い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はAの割合が減少し、C+D+Eの割合が増加しており課題である。女子は、Aの割合は減少し、C+Dの割合が増加しており課題である。
- ・ 男女ともに、上位層が少なくなっているため、中・下位層の児童を引き上げるための授業改善や支援等が課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男子はA+Bの割合が低く、C+D+Eの割合が高い。女子は A、Dの割合が高く、B+Cの割合が低い。
- ・ 前年度と比較すると、男子はBの割合が減少し、C+D+Eの割合が増加しており課題である。女子は、Aの割合は増加したものの、Dの割合が増加しており課題である。
- ・ 男女ともに、上位層が少なくなっているため、中・下位層の生徒を引き上げるための授業改善や支援等が課題である。

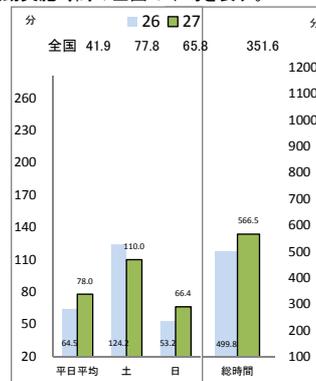
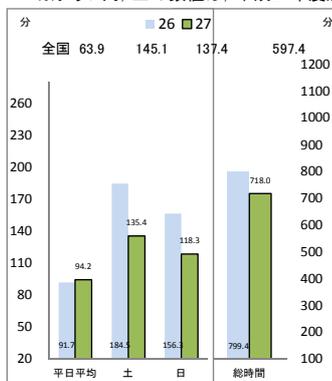
【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



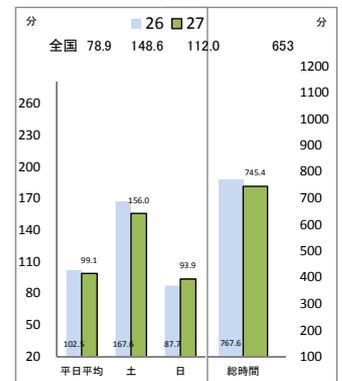
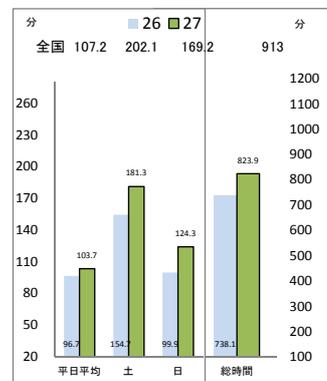
※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、平日は男女ともに上回っており、男子は土・日、女子は日曜日が短い。また、1週間の運動時間は、男女ともに上回っている。
- ・ 前年度と比較すると女子は、平日、日、1週間の運動時間が増加しているが、男子は、土日、1週間ともに減少しており、課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、男子は平日、土、日、総時間ともに下回っている。女子は平日、土、総時間ともに上回っており、日のみ短い。
- ・ 前年度と比較すると男子は、平日、土日、1週間の運動時間が増加しているが、女子は、日のみ短くなった。

【改善策】

- 【小学校】
 - ・ 体育授業導入時における一校一運動の実施等の児童の運動実施時間の確保
 - ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま」の積極的な活用
- 【中学校】
 - ・ 保健体育の授業時や部活動時の「かごしまの子ども体力向上プログラム」の積極的な活用
 - ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま」の積極的な活用
- 【共通・その他】
 - ・ 家庭でできる運動やスポーツを促す具体的啓発資料の作成及び広報等の充実
 - ・ 体育・保健体育の授業導入時における体力づくりの工夫・改善
 - ・ 体育・保健体育の授業時や運動部活動時の地域人材の効果的な活用

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

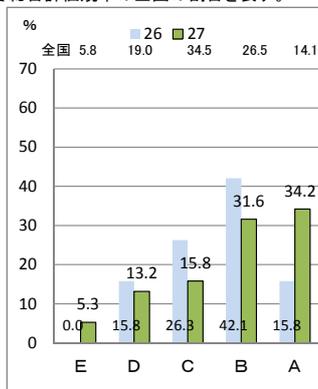
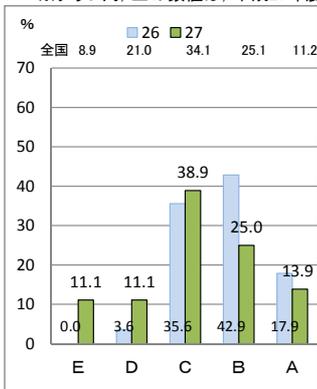
和泊町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

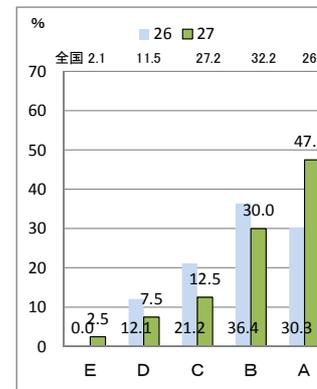
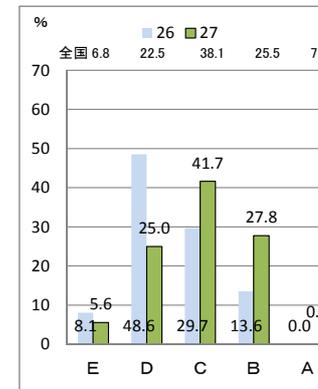
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下 中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、ほぼ全国平均と同程度であるが、Eの割合が全国平均より高くなっており、運動を苦手とする児童への個に応じた指導が必要である。女子は、A・B層が厚く、体力・運動能力が身に付いている。
- ・ 前年度と比較すると、男子はA・B層が減少し、E・D層が増加している。女子は全体的に向上している。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子はほぼ全国平均と同程度であるが、個に応じた目標設定による上位層の引き上げが必要である。女子は、A・B層が非常に厚く、体力・運動能力が十分身に付いている。
- ・ 前年度と比較すると、男女共に体力・運動能力が向上している。

【小学校 運動実施時間】

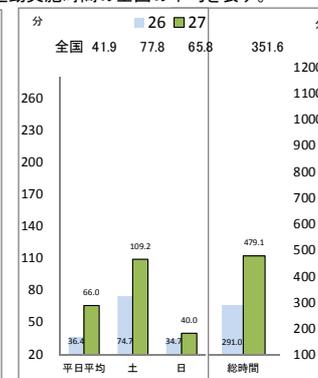
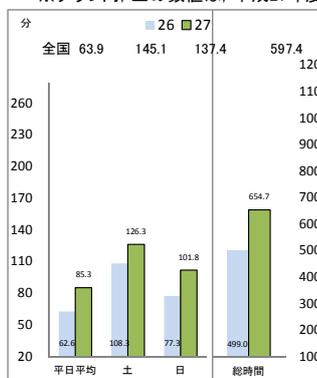
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



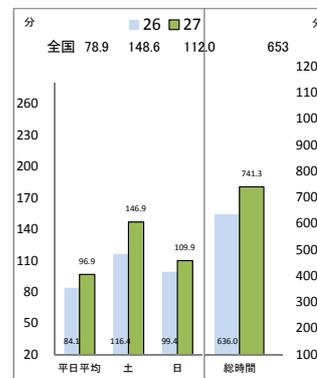
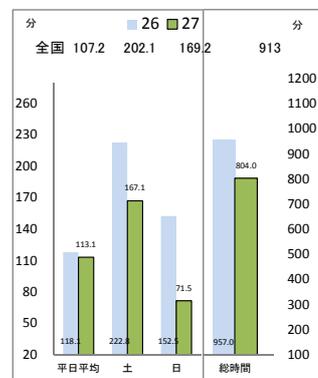
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較した運動実施時間は、男女共に上回っており、特に女子の運動時間が長い。ただ、男子は土日、女子は日曜日が全国平均を下回っており、土日に休養している現状が伺われる。
- ・ 前年度と比較して、男女共に運動時間は増加している。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較すると、男子は、平日やや上回っているものの、土日が短く、その時間差も大きい。土日の運動時間確保が課題である。女子は、平日が大きく上回り、土日が同程度である。
- ・ 前年度と比較すると、男子は運動時間が減少し、特に土日の減少が大きく、課題である。女子は、1週間を通じて運動時間が増加している。

【改善策】

【小学校】

- ・各学校の特色を生かした一校一運動や「チャレンジかごしま」等の取組の充実と家庭への啓発による波及

【中学校】

- ・各学校の特色を生かした一校一運動の取組の充実と学校体育、部活動が運動した生徒の実態に応じた補強運動の推進
- ・運動部活動に加入していない生徒への運動習慣育成のための個別指導の推進

【共通・その他】

- ・わらんちゃクラブ、あぐんちゃクラブでの幼少期における運動経験の充実と推進員による研修等の実施
- ・地域の伝統行事や芸能への積極参加の推進と地域ぐるみの社会体育の充実策の推進

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

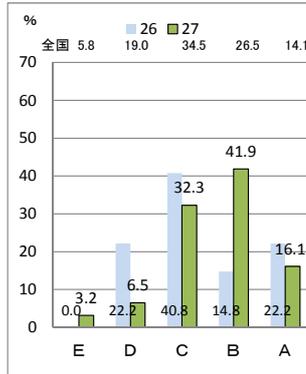
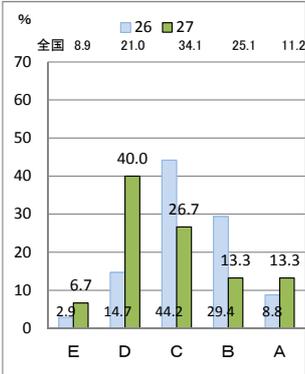
知名町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

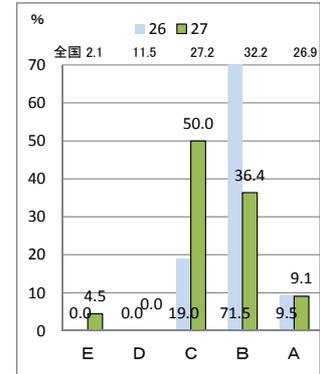
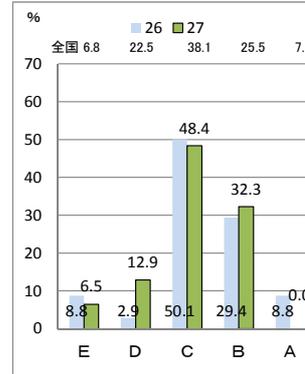
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価規準(得点)を示す。

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、A+Bの割合が前年度と比較して減少し、Dの割合が40%に増加している。全国と比較してもDの割合が高い。
- ・ 女子は、A+Bの割合が58%であり、D+Eの割合が9.7%で全国と比較しても少ない。
- ・ 男子では、EやDに段階に対する働きかけをすることが課題である。女子では、高い体力が維持されるような働きかけをしていくことが課題である。

〈現状及び課題〉

- ・ 男女ともに、Cの段階に集中しており、A+Bの割合が全国平均より低い。女子のA+Bは、全国より13.6%低い。
- ・ 前年度比で、男女ともにA・B段階の割合が減少していることが課題である。
- ・ 男女ともに、中位層の生徒の体力向上を図っていくことが課題であり、BやCの段階の生徒を1つ上の段階に引き上げていくような取組が必要である。

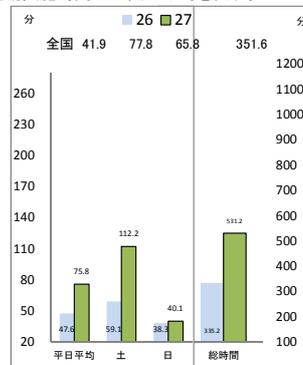
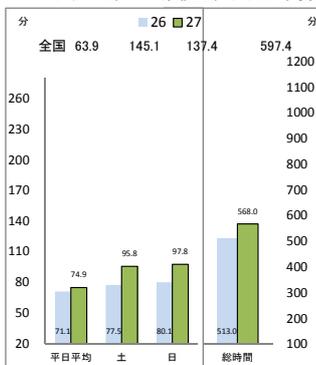
【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。

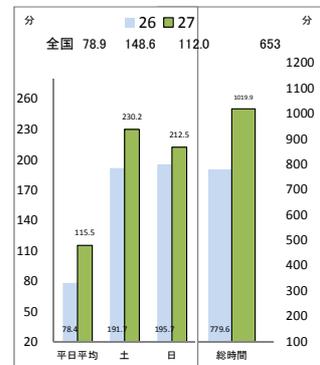
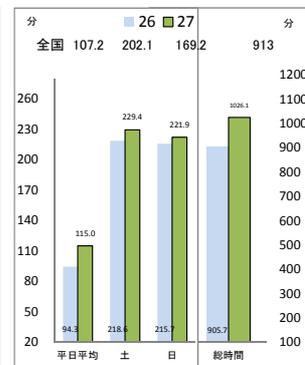


【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 男子は、平日の運動実施時間については、全国平均より長く、土曜日、日曜日は全国平均より短い。女子は、日曜日の運動時間は少ないが、平日・土曜日の運動時間が、全国平均より多く運動しているため、総時間においても全国平均より多くなっている。
- ・ 運動実施時間の総時間について、男女による差が大きいことから、女子が運動を積極的に行っている。

〈現状及び課題〉

- ・ 前年度と比べると女子の運動時間が増加している。
- ・ 男女ともに運動実施時間は、全ての項目で全国平均を上回っている。運動実施時間の男女による差は、ほとんどない。
- ・ 女子の運動実施時間は、前年度や全国平均を大きく上回っており、運動を積極的に行っている。

【改善策】

【小学校】

- ・ 土曜日、日曜日に運動することの奨励や社会体育等の取組を充実させることで、運動時間の増加を図る。

【中学校】

- ・ 運動部活動の運営・指導の工夫改善に関する共通理解を進める。

【共通、その他】

- ・ PTAや家庭教育学級で、運動に関する研修等の開催や親子体力づくり等を奨励する。
- ・ 休日における運動やスポーツを奨励する具体的な取組の充実や活用できる資料を広報する。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

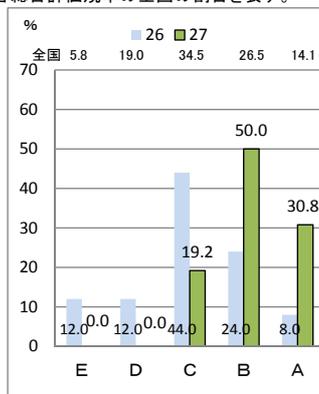
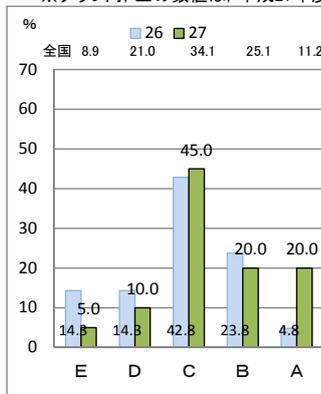
与論町 教育委員会

【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

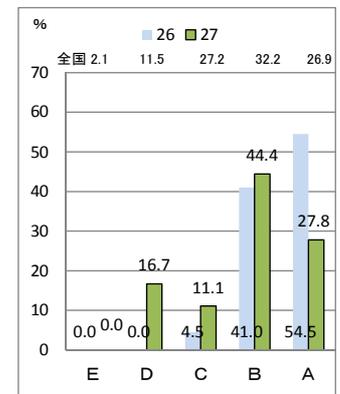
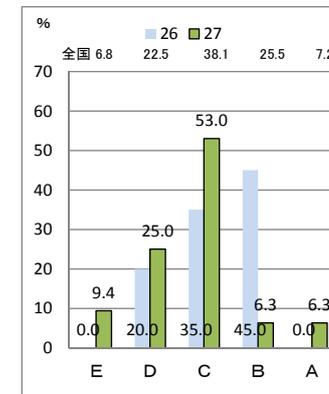
※グラフ内、上の数値は、平成27年度各総合評価標準の全国の割合を表す。



【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価標準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価標準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男女ともA+Bの割合が高く、D+Eの割合が低い。
- ・ 前年度と比較すると、男女ともA+Bの割合が増加し、D+Eの割合が減少している。特に女子については、D、Eに児童が0%で、A、Bの児童の割合が増加している。この結果から、男女とも体力が向上してきていることが分かる。

〈現状及び課題〉

- ・ 全国と比較して、男女ともD+Eの割合が高くなっているのに対し、A+Bの割合は、男子が全国より低く、女子は全国より高くなっている。
- ・ 前年度と比較して、男女ともA+Bの割合よりD+Eの割合が増加している。
- ・ 全体的に女子に比べ男子の体力向上が必要であることから、男子の体力及び運動への興味・関心を高める取組を充実させることが課題である。

【小学校 運動実施時間】

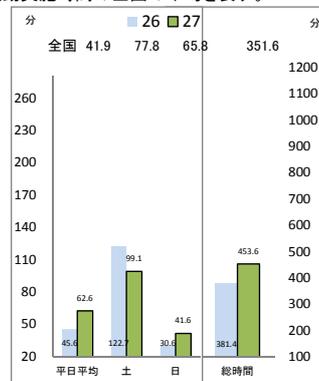
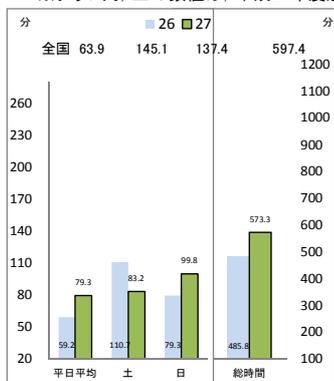
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、平成27年度運動実施時間の全国の平均を表す。



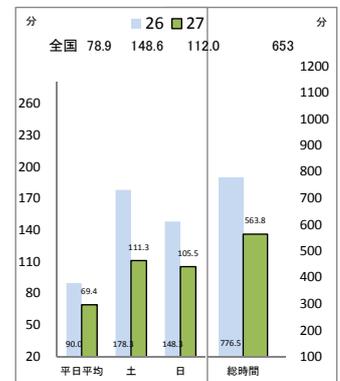
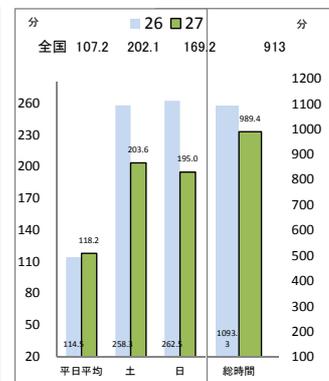
【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

〈現状及び課題〉

- ・ 男女とも平日の運動実施時間については、全国とほとんど差がない。土、日曜日については、男子は全国平均より短く、女子はほとんど差がない。総時間については、男子が全国よりわずかに短く、女子は全国より長くなっている。
- ・ 前年度に比べると、男女ともに土曜日の時間が減少したが全体的には増加している。

〈現状及び課題〉

- ・ 男女とも平日の運動実施時間については、全国とほとんど差がないが、土、日曜日については、男女ともに短くなっている。また、総時間については、男子が全国より長くなっている反面、女子は全国より短くなっている。
- ・ 前年度に比べると、男女とも全体的に時間が減少している。

【改善策】

【小学校】

- ・ 小学校版「体力アップ! チャレンジかごしま」への継続した取組
- ・ 「外遊びの日」の位置付け

【中学校】

- ・ 中学校版「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組の推進
- ・ 運動部活動以外に所属する子供に対する運動への興味・関心を高める取組の充実

【共通、その他】

- ・ 体育・保健体育の授業における補強・補助運動の時間設定(例:体力アップタイム)
- ・ 一家庭一運動、一シマー運動の推進